

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 <b>新しい交通システム</b>						整理番号	503	枝番号				
担当部課名 <b>都市整備部都市計画課</b>				コード	220102	連絡先電話番号	3504	昨年度整理番号	519	昨年度枝番号		
係名 <b>交通企画担当</b>					上位施策名 <b>道路交通体系の整備</b>				No			
予算事業名 <b>新しい交通システム</b>					コード	50950	道路交通体系の整備				5	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <b>61年度</b>				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等							
	区民、国、東京都				(1) エイトライナー促進協議会設置要綱 (2) (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) エイトライナー構想実現のための調査・研究及び促進活動を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 環状8号線を基本的な導入空間として環状鉄道を建設し、区部周辺部の環状方向の利便性を向上させる。							
	活動指標名(式) (1) エイトライナーの促進協議会の幹事会等 (2) エイトライナー促進協議会「区部周辺部環状公共交通都区連絡会」の開催				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)エイトライナー理事会・総会の開催 (2)							
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		回	14	14	13	14	22	15	18	122.2	
	活動指標(2)		回	12	12	10	12	4	5	15	26.7	
	成果指標(1)		回	2	2	2	2	2	2	2	100.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,312	1,312	1,403	1,912	800	1,012	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.82	0.70	0.71	0.90	0.91	1.01	1.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,462	6,342	6,433	8,154	8,245	9,151		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	2,830		
	総事業費 + +		千円	8,774	7,654	7,836	10,066	9,045	12,993			
	単位あたりコスト( - )÷		円	626,714	546,714	602,769	719,000	411,136	866,200			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	8,774	7,654	7,836	10,066	9,045	12,993				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			エイトライナー促進協議会(幹事会、担当者会、理事会総会等)					22	回	800		
			エイトライナー促進協議会(区部周辺部環状公共交通都区連絡会)					4		0		
			その他 ( )							0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 503 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	157.1	活動指標(2)の 18年度達成率%	33.3	18年度予算 執行率%	41.8
	エイトライナー促進協議会の分担金が50万円減額されたため予算の執行率が落ちている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	エイトライナー促進協議会の分担金が、18年度より130万円から80万円に50万円減額された。促進協議会の運営に係る経費については、関係6区と協議し、今後の促進活動の進め方について引き続き検討を行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	これまでの調査、研究、促進活動の成果により、国の諮問機関である「運輸政策委員会」の18号答申において、平成12年「区部周辺部環状公共交通」として「今後、整備について検討すべき路線」と位置付けられた。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	促進活動などを通じて、多くの区民から南北交通の不便を解消する路線として大きな期待が寄せられている。				
	今後の予測	東京都と関係9区で構成する「区部周辺部環状公共交通都区連絡会」において、運輸政策審議会答申の付帯条件として示された諸問題を解決するための具体的な調査、検討を行っていき、エイトライナー構想の実現に努めていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由： 地域を環状方向で結ぶ公共交通は、東京圏の都市構造の再編を促すのみならず、高齢化社会のモビリティ確保、環境への負担の少ない交通サービスを提供する路線として、その果たすべき役割はたいへん				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容： 関係区で費用を拠出し、運輸政策審議会答申に付された課題などの調査研究活動が行っている。 理由または具体的内容： 今後は13年から16年に行われた調査をもとにしてのシステムの選択や具体的な経費等について検討を進めていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 現在の促進協議会や都区連絡会による調査研究等は受益者負担を伴う事業ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容： 促進協議会の分担金が18年度に下がった。しかし、促進活動等の経費が再度下がるかどうかは今後の活動や方向性によるので関係区や東京都との協議が必要である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方： <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題： エイトライナー構想実現のためには、国や東京都に対して区民、議会、行政が一体となった促進活動を展開していくことが重要である。現段階では、区が中心となって継続的な活動を行う必要がある。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 運輸政策審議会18号答申で提示された課題等の解決に向けて、東京都と関係9区で構成する「都区連絡会」において、連携を密にとりながら調査、検討を進めていくが、70kmを超える長大路線であり、事業規模も国家的プロジェクトとなるため、その実現には長い年月を要するものとする。引き続き構想実現に向けた諸課題の精査を進めていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 東京都及び関係区との調整。	
	(1) 20年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 促進活動のあり方や経費について検討を行っているが、関係6区による協議会で調査等の活動を行っているため、今後の協議会等の活動のあり方で経費の増減は流動的である。経費の削減については関係する都や区との協議が不可欠であり、区単独での削減は困難である。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路認定改廃				整理番号	546		枝番号				
担当部課名		都市整備部土木管理課		コード	220704	連絡先 電話番号	3417		昨年度 整理番号	563	昨年度 枝番号		
係名					道路認定係			上位施策名		No			
予算事業名					道路認定改廃			コード		57500	道路交通体系の整備	5	
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区が管理する道路・水路敷き等の利用者及び土地所有者				根拠法令等 (1) 道路法第8条・9条10条・16条・18条・90条・97条 (2) 杉並区区有通路条例及び同施行規則 (3) 杉並区公共溝渠条例及び同施行規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区が管理する道路・水路敷きの認定・変更・廃止				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区が管理する道路・水路敷きを適正に管理し、体系的な道路網の構築を図る。					
	活動指標名(式)			(1) 道路認定改廃等業務件数 (2) 区管理道路面積(新たに管理する面積)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)道路率(区面積に対する区管理道路面積) (2)					
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度 計画 実績		18年度 計画 実績		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%		
	活動指標(1)		件	440		333		492					
	活動指標(2)		m <sup>2</sup>	2,396		4,425		3,544					
	成果指標(1)		%	10.14		10.15		10.16					
成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	463	588	516	585	411	585	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤   非常勤)		人	4.75	4.75	4.98	5.00	1.00	5.10	1.00	5.00	1.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	43,225	43,035	45,119	45,300	46,206	45,300			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	2,830	2,830	2,830			
	総事業費 + +		千円	43,688	43,623	45,635	48,715	49,447	48,715				
	単位あたりコスト( - )÷		円	99,291		137,042		100,502					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	43,688	43,623	45,635	48,715	49,447	48,715					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			権原取得					21	件	239			
			区域変更					456	件	89			
			交換・用途廃止					13	件	29			
			道路認定					1	件	29			
			その他 区有通路廃止、地図訂正						件	25			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 546 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	70.3
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		単独水路の区有通路化については、平成19年度の告示に向けて、路線の選定、幅員の調査などの準備をおこなった。			
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・道路、水路等の国有地が区に移管され、そのため交換・用廃等の相談が増加している。 ・区域変更は、平成元年からの狭あい道路拡幅事業によりS63年の24箇所からH5年の310件、H15年の404件と増加している。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・私道の土地所有者から区道化の要望が多い。 ・測量費等の費用負担を申請者が負うことに対する苦情がある。			
	今後の予測	・道路、水路等の国有地が移管され、機能管理・財産管理が区の業務となった。そのため相談や交換・用廃等の事務量の更なる増加が見込まれる。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由 )	理由: 道路網の適正化により、住環境の向上に貢献している。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 申請者の発意に基づく寄附行為であり、コストと成果は結びつかない。 理由または具体的内容:			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 土地所有者は自らの財産である土地を道路である公共用地に提供するのであり、受益者には当たらない。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 個々の申請事案に対し、基準に適合するかの審査をおこなう事務であって、コストを下げる余地はない。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 道路法等による管理者の事務であり協働実現は困難			
	(3) 協働等の形態				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・法定及び法定外公共物の国有財産が区へ移管されたのに伴い事務量が増加している。そのため事務処理を迅速に処理していかなければならない。 ・移管された国有財産を適正に管理するために、水路として機能を有していない箇所を優先的に区有通路化していく。 ・道路との並行水路については可能な箇所から順次、区域変更していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・平成20年度から区区内にある所有地の譲与を受ける予定であり、そのための調査や申請をおこなわなければならない。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路等の管理区域確定						整理番号	547	枝番号		
担当部課名		都市整備部土木管理課		コード	220735	連絡先 電話番号	3485	昨年度 整理番号	564	昨年度 枝番号		
係名		区域調査係		上位施策名				No				
予算事業名		道路等の管理区域確定		コード	57550	道路交通体系の整備				5		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		4 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区が管理する道路・区有通路・水路に隣接する土地所有者 区が管理する道路等の公共用地		根拠法令等 (1) 道路法18条、28条、97条 (2) 地方自治法第2条第3項 (3) 杉並区公共溝渠条例、杉並区区有通路条例							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		道路等公共用地に隣接する土地所有者からの申請に基づき、土地境界・道路区域を確認する。 道路等公共用地を測量（委託）を実施する。 境界確認等に関する資料を電子化する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 道路等公共用地隣接者の適切な土地利用を図る。 道路等公共用地の管理区域を明確化する。 電子化により事務処理を効率化する。							
	活動指標名(式)		(1) 土地境界確認及び道路区域等の確認申請件数 (2) 管理区域の調査測量延長		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 土地境界確認及び道路区域等確認の通知書発行件数 (2) 土地境界等の証明書発行件数							
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%		
	活動指標(1)	件	801	680	731	680	660	680				
	活動指標(2)	m	2,823	3,400	2,392	3,400	2,669	2,190				
	成果指標(1)	件	2,355	2,300	2,533	2,300	2,439	2,300				
	成果指標(2)	件	699	600	566	520	666	520				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	38,447	42,646	39,161	37,243	32,039	30,011	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	25,666	28,224	26,090	28,126	24,495	26,248			
	職員数(常勤   非常勤)		人	13.08   0.00	12.30   1.00	12.40   1.00	12.53   1.00	12.24   1.00	12.24   1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	119,028	111,438	112,344	113,522	110,894	110,894			
		非常勤職員分	千円	0	2,890	2,890	2,830	2,830	2,830			
	総事業費 + +		千円	157,475	156,974	154,395	153,595	145,763	143,735			
	単位あたりコスト( - )÷		円	196,598	230,844	211,211	225,875	220,853	211,375			
	財源	受益者負担分		千円	171	180	169	156	200	156		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	171	180	169	156	200	156				
差引: 一般財源 -		千円	157,304	156,794	154,226	153,439	145,563	143,579				
受益者負担比率 ÷		%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		建築確認に伴う測量委託					1	件	12,047			
		公共用地測量委託					1	件	10,543			
		境界確定図等電子化委託					1	件	5,286			
		管理区域確定調査測量委託					1	件	1,906			
		その他 ( )							2,257			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 547 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	97.1	活動指標(2)の 18年度達成率%	78.5	18年度予算 執行率%	86.0
		活動指標(2)の達成率の未達は、建築確認等に伴う測量箇所数の減少したこと(17年度143箇所 18年度128箇所)。および、公共用地測量で境界が確認できないことにより表示登記まで進めない箇所があり執行減となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		国有財産の譲与に伴う膨大な資料を迅速に検索するため文書の電子化を実施した。平成15年から実施した境界確定図電子化等委託により、過去の境界確定に関する資料の電子化は今年度で完了する。(新たに境界等を確認した箇所の境界確定図等の電子化は継続する。)					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	国有財産の譲与前(平成10～12年度)の土地境界等確認の年間平均数 331件 国有財産の譲与後(平成16～18年度)の土地境界等確認の年間平均確認申請数 731件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	土地境界・道路区域確認の現地測量や図面作成などの費用が申請者の負担となっている。申請者の費用負担が軽減されるよう、区が道路管理者として自ら道路区域の測量をすべき旨の要望がある。					
	今後の予測	地籍調査の実施準備が平成19年度の都市整備部の重要課題になり、本年度はこのことについて勉強会を行うこととなった。地籍調査の動向により、現在の道路等の管理区域確定事業は大きく変わることが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:道路等公共施設管理者が、管理事務を円滑に遂行するためには、管理区域を明確にしておく必要がある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 人件費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容:18年度公共用地測量を土地家屋調査士会へ委託したが、若干成果が向上したが大きく変わることはなかった。 理由または具体的内容:地籍調査事業を実施することにより、土地境界、管理区域ともに大きく成果を向上できる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:現地測量費、図面作成費等は、すでに申請者が負担している。区の負担は主に人件費であり、これ以上の負担を求めることは難しい。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:地籍調査事業を実施することにより、東京都の負担金を導入し明確化を進めることができる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 建築確認に伴う測量、公共用地測量等を土地家屋調査士会や測量に精通した事業者へ委託することで、効率的な執行ができています。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 本年度行う地籍調査事業の勉強会の成果を踏まえ、本事業のあり方、組織の再編などを検討する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 本年度から勉強会を行うため推測となるが、地籍調査事業実施期間中の業務量増に伴う人員の確保や支出増が阻害要因と考えられる。地籍調査事業が実施された場合には、地籍調査期間中は、一時的に人員増支出増となることは避けられないが、できる限り委託で対応することにより成果の向上や支出増の圧縮を図る。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 申請にもとづく土地境界等の確認は、今年度と同様の件数が見込まれる。また、委託測量では、道路等管理上必要な箇所の測量のほか、境界未確定の区有通路化水路の測量を実施する。境界確定図等電子化委託は、本年度で終了するが、この委託で電子化した資料を管理する「境界確定等の管理検索システム」の保守費用等が発生する。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		占用・使用許可		整理番号	548	枝番号					
担当部課名		都市整備部 土木管理課		コード	220701	連絡先電話番号	3402				
				昨年度整理番号	565	昨年度枝番号					
係名 占用係				上位施策名			No				
予算事業名 占用・使用許可、取締				コード 57700			5				
事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				35 年度							
事業の種類				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区の管理する道路、区有通路、河川、公共溝渠に接する建物・土地所有者ならびに公益起業者等				根拠法令等 (1) 道路法 (2) 杉並区公共溝渠条例 (3) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区道、区有通路、河川、公共溝渠の占・使用許可事務 道路占用料、河川・公共溝渠の占・使用料の徴収事務				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路、区有通路、河川、公共溝渠の適切な占・使用許可を行い、占有面積に応じて適正な占・使用料を徴収する。							
活動指標名(式) (1) 道路、区有通路、河川、公共溝渠の占・使用許可申請件数 (2) 道路、区有通路、河川、公共溝渠の占・使用料徴収額				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 占・使用許可申請件数前年度比率 (2) 占・使用料徴収額前年度比率							
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
				計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)		件	5,386		4,227	4,400	4,342			
	活動指標(2)		千円	945,213	947,819	942,012	917,094	912,965	1,074,808		
	成果指標(1)		%	89		79		103			
	成果指標(2)		%	118		99	97	97	118		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,267	7,781	7,939	8,056	7,886	9,276	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	620		494	444	444	444		
	職員数(常勤   非常勤)		人	5.00   0.75	5.00   0.75	5.00   0.75	5.00   0.75	5.00   0.75	5.00   1.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	45,500	45,300	45,300	45,300	45,300	45,300	
		非常勤職員分		千円	2,160	2,168	2,168	2,123	2,123	2,830	
	総事業費 + +		千円	55,927	55,249	55,407	55,479	55,309	57,406		
	単位あたりコスト( - )÷		円	10,384		13,108	12,609	12,738			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	55,927	55,249	55,407	55,479	55,309	57,406			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			道路管理システム運営費負担金						5,490		
			道路管理システム用端末機リース料						1,205		
			道路管理システム用端末機保守管理委託料						444		
			郵便料						45		
			その他 ( )						702		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 548 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	98.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	99.5	18年度予算 執行率%	97.9
		占用・使用許可は、申請に基づく実績件数と徴収額であり、目標値は設定していない。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		占・使用料の算定基準となる固定資産税評価額が、3年毎に改定され、平成19年4月より平均20%アップの改定を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	住宅建築が引き続き好調である。一方でライフラインの老朽化が進み、占用・使用許可件数は高い数値が続いている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	占用・使用許可に基づく道路工事に起因する騒音・振動、交通規制に対する苦情が多い。					
	今後の予測	杉並区内の下水道設備は、構築から30～45年を経過している。下水道施設の耐用年数はおよそ50年間であり、大幅な改善が必要になってくる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:まちの骨格である道路を、良好な状態に保つ役割を担っている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:ガス、上下水道、東京電力、NTTの5企業とは道路管理システムによるオンライン化、OA化が進んでいる。鉄道や通信などの未参画企業が加われば効率上がる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:特別区の地価は格別が高い。これを基に算定する占用料には、なお値上げの余地がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:オンライン化、OA化を進め、最低限の経費で運用している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 道路管理システムによるオンライン申請で事務の効率化が進んだ。ケーブルTV、携帯電話、光通信などの新しい企業や鉄道業者の未参画企業の占・使用申請の効率化が課題である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 道路等の公共財産の占用・使用の対価として、占用料・使用料を徴収している。占用料・使用料は、固定資産税評価額を基準に算定しているが、3年ごとの固定資産税の評価額の改定にあわせた、適切な占用・使用料の改定が重要である。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 占用・使用料は、ガス、電気料などの公共料金の経費である。公共料金の値上げや地域差を招くことの無いよう、特別区間の綿密な連絡と調整を行い、慎重な検討が必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 OA化を進め、最小の経費で事業を執行している。	



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路上工事調整会議				整理番号	549	枝番号					
担当部課名		都市整備部土木管理課		コード	220701	連絡先 電話番号	3402	昨年度 整理番号	566	昨年度 枝番号			
係名					道路調整担当			上位施策名		No			
予算事業名					占用・使用許可、取締			道路交通体系の整備		5			
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ○ 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 道路法 第34条 (2) 杉並区道路上工事調整協議会設置要綱 (3)				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区、水道局、下水道局、東京電力、NTT、東京ガス等が 区道上で行う延長20m以上の工事		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区道上で行われる工事を調整することにより、無駄な掘り返しを 減らし、工事期間の短縮を図る				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				対象となる工事の予定を道路管理システムに登録し、関 連する工事について施工時期や工事方法を調整する		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) システム登録工事件数 対前年度比 (2) 競合調整比率				
	活動指標名(式)				(1) システム登録工事件数 (2) 競合調整工事件数		目標値 22年度		目標値に対 する18年度 の達成率%				
総事業費・コスト把握	区分		単位	16年度 実績		17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		件	585		584		522					
	活動指標(2)		件	262		327		244					
	成果指標(1)		%										
	成果指標(2)		%										
	事業費		千円	139		156		156		166	94	166	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.70		0.70		0.70		0.70		0.70	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,370		6,342		6,342		6,342	6,342	
非常勤職員分		千円	0		0		0		0	0			
総事業費 + +		千円	6,509		6,498		6,498		6,508	6,436	6,508		
単位あたりコスト( - )÷		円	11,126				11,127			12,330			
財源	受益者負担分		千円										
	国・都等からの支出金		千円										
	特定財源計 +		千円	0		0		0		0	0	0	
	差引: 一般財源 -		千円	6,509		6,498		6,498		6,508	6,436	6,508	
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0		
18年度の主な取組み			内 容						規模	単位	事業費(千円)		
			その他 ( )								94		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 549 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	56.6
		外部委託していた工事計画の入力を職員が行い、最小の経費で事業執行に努めている。また、この事業は提案された工事についての調整であり、目標値等は設定できない。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		道路管理センターを中心にシステム参加者を含めハードウェア更新に向けたソフトウェア構成等について見直し作業を進めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成11年度から増加傾向にあった工事件数が、水道管のステンレス化工事の一段落により減少した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	夜間工事の騒音、振動に対する苦情や年末・年度末工事による交通渋滞にたいする苦情等が多い。					
	今後の予測	地下埋設管の震災対策や老朽化対策による工事が増加傾向にある。特に下水道は布設から40年位経過し老朽化しているため補修工事等の増加が予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 各企業等の工事計画や施工時期を調整することにより工期の短縮、掘り返しの抑制を図る。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 道調システムを含めた道路管理システムの再構築とシステム未参加占有者の利用促進。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 道路管理者の義務的的事业である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 平成10年度よりOA化を行い、平成12年度からは外部委託もやめている。関係する企業に配布する資料も最小限にしている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 法律に基づく、各企業等(NTT、東京電力、東京ガス、水道局、下水道)の工事計画や施行時期の調整のため。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成19年度のハードウェア更新時を目的に、道路工事調整システムを再構築することにより、利便性の向上と効率化を図る。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 杉並区だけの問題ではなく、システム参加者全体の取組みが必要。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 最小限の経費で事業執行しており、19年度の予算増減はない。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路台帳の整備				整理番号	550	枝番号				
担当部課名		都市整備部 土木管理課		コード	220711	連絡先 電話番号	3406	昨年度 整理番号	567	昨年度 枝番号		
係名					台帳整備係			上位施策名		No		
予算事業名					道路台帳の整備			コード		57750	道路交通体系の整備	5
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区が管理する道路等の情報を必要としている人				根拠法令等 (1) 道路法 28条 (2) 杉並区区有通路条例 (3) 測量法 32条					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区が管理する道路台帳の補正 区が管理する道路台帳の情報提供				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路台帳を適正化し、正確な情報を提供する。					
	活動指標名(式)		(1) 道路台帳の閲覧、相談件数(窓口来庁者数) (2) 道路台帳の補正延長				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)道路台帳の補正率 (2)					
指標	活動指標(1)		人	16,184		15,874		16,828				
	活動指標(2)		m	7,791		9,231		8,098				
	成果指標(1)		%	0.113		0.133		0.117				
	成果指標(2)							0.117				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,996		8,108		14,690	8,725	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 目標値を定めるのに適 さない事業である。		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	6,405		6,510		12,600	6,877			
	職員数(常勤   非常勤)		人	4.25   1.00	4.25   1.00	4.25   1.00		5.06   1.00	5.00   1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	38,675	38,505	38,505	0	45,844	45,300		
		非常勤職員分		千円	2,880	2,890	2,890	0	2,830	2,830		
	総事業費 + +		千円	49,551	41,395	49,503	0	63,364	56,855			
	単位あたりコスト( - )÷		円	3,062		3,118		3,765				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	49,551	41,395	49,503	0	63,364	56,855				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		道路台帳整備						1,963	m			
		その他 ( )								14,690		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 550 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	
		道路台帳の補正は、区域変更(二項道路等の後退整備)や道路認定等の実施に伴って行うもので、その年度の実績により左右されるものである。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		水路の区有通路化補正の完了により台帳補正委託予算は通常に戻った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	現在の道路台帳は現況幅員図を基本としたもので昭和40年代から逐次補正を行ってきた。 沿道の土地取引や建築に伴う閲覧、相談等の窓口事務は増加の一途である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	インターネットで台帳が見れますか。 道路幅員を電話で教えてください。 (間違いが起こりやすいのでお取り扱いしていません。)					
	今後の予測	ITを活用した道路台帳情報の提供を行うようになる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由 )	理由: 道路台帳は、道路管理者が道路を管理するために必要なものである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )	理由または具体的内容: 現在の紙ベースの道路台帳では、閲覧情報を探す時間に大半の労力が割かれてしまうため、効率的な管理ができない。					
	成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 道路台帳の閲覧・印刷システムをIT化して、効率化、省力化、信頼性の向上を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 道路台帳を整備して閲覧に供することは道路管理者の義務である。 図面複写サービスについては他自治体の動向を見ている。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: IT化による一部コスト(台帳閲覧)の節減の余地はあるが、質の高い道路台帳を整備していくためのコスト上昇は避けられない。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 道路台帳補正委託により区域変更(二項道路等の後退整備)や認定等に伴う道路台帳の補正を行っている。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ITの導入により閲覧窓口業務を効率化し、サービス向上、人員不足の解消を図る。 質の高い道路台帳の整備を図っていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 道路台帳とその関連資料が紙ベースで分散しているため、資料を探す時間と図面複写の労力が大きく、職員が大半の時間を閲覧窓口の対応に割き、窓口対応に追われる状態となっている。 全庁GISの計画・設計に影響され、23区で最も道路台帳のIT化が進んでいない。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 現行業務で最大の課題点となっている窓口対応について、IT化による改善を図る。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		掘さく道路復旧					整理番号	551	枝番号				
担当部課名		都市整備部 土木管理課		コード	220701	連絡先 電話番号	3402	昨年度 整理番号	568	昨年度 枝番号			
係名 占用係		上位施策名					No						
予算事業名		道路掘さく復旧		コード	道路交通体系の整備					5			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ○平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 道路占用工事の各企業者				根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路の占用に関する掘さく工事の監督事務費の徴収事務 占用申請(占用係) 工事監督・竣工立会い(土木事務所) 監督事務費の清算(占用係)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		道路を良好な状態に保つため、占用工事の道路復旧について監督・立会いを行い、適正な監督事務費を徴収する。				
	活動指標名(式)		(1) 企業者の道路掘さく工事件数 (2) 企業者の道路掘さく復旧面積				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 企業者の道路掘さく工事件数前年度比率 (2) 企業者の道路掘さく復旧面積前年度比率				
指標		区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
					計画	実績	計画	実績					
		活動指標(1)	件	4,887		2,272		3,846					
		活動指標(2)	m <sup>2</sup>	70,015		128,157	70,000	44,795	128,000				
		成果指標(1)	%	93		46		169					
		成果指標(2)	%	73		183	55	40	55				
総事業費・コスト把握		事業費	千円	2,385	2,813	2,790	2,581	2,449	2,581	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
		(内) 投資的経費等	千円										
		(内) 委託費	千円	930	837	837	605	605	605				
		職員数(常勤   非常勤)	人	0.75		0.75		0.75		0.75		0.50	
		人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	6,825	6,795	6,795	6,795	6,795	4,530			
			非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
		総事業費 + +		千円	9,210	9,608	9,585	9,376	9,244	7,111			
		単位あたりコスト( - )÷		円	1,885		4,219		2,404				
		財源	受益者負担分	千円	62,171	75,974	82,882	61,793	40,817	76,221			
			国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +	千円		62,171	75,974	82,882	61,793	40,817	76,221					
差引: 一般財源 -	千円		▲ 52,961	▲ 66,366	▲ 73,297	▲ 52,417	▲ 31,573	▲ 69,110					
受益者負担比率 ÷		%	675.0	790.7	864.7	659.1	441.6	1,071.9					
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		道路管理システム用端末機リース料							1,415				
		道路管理システム用端末機保守委託料							604				
		その他 ( )							430				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	551	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%	64.0	18年度予算 執行率%	94.9
		道路占用許可に基づく道路掘さく工事の監督事務費の徴収事務である。年度ごとの実績であり、目標値の設定はない。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		企業の占用工事の復旧はすべて企業が行い、区の受託復旧工事は16年度から廃止した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度より道路管理システムによるオンライン申請、監督事務費の算定が行われ、事務の効率化が大きく進んだ。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	道路占用に伴う掘さく工事の騒音・振動による苦情が多い。					
	今後の予測	杉並区内の下水道設備は、構築から30～45年を経過している。下水道施設の耐用年数はおよそ50年間であり、集中豪雨対策を含めて大幅な改善が必要になってくる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: まちの骨格である道路を良好な状態に保つ。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 占用工事を行うすべての企業に道路管理システムに加入を義務づける(NTT以外の通信事業者、鉄道事業者は未参画)。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 特別区の地価は格別が高い。これを基に算定する監督事務費には、なお値上げの余地がある。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: オンライン化、OA化を進め、最低限の経費で運用している。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 道路管理システムによるオンライン申請で事務の効率化が進んだ。ケーブルTV、携帯電話、光通信などの新しい企業や鉄道業者の未参画企業の占・使用申請の効率化が課題である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 道路占用工事にかかわる監督事務費は、固定資産税評価額を基準に算定しているが、19年度に固定資産税の評価額の改定に合わせて、監督事務費の改定も行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 監督事務費は、公共工事の直接的な経費である。公共設備の地域格差を廃し、公平な整備を進めるため、周辺自治体で格差を生じることの無いよう、綿密な連絡と調整が必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 OA化を進め、最小の経費で事業を執行している。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路の路面改良					整理番号	552	枝番号							
担当部課名		都市整備部 杉並土木事務所		コード	222705	連絡先 電話番号	3315-4178	昨年度 整理番号	569	昨年度 枝番号						
係名		設計係		上位施策名			No									
予算事業名		道路の路面改良		コード	58150	道路交通体系の整備			5							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	1	政策番号	1	施策番号	3	事業コード	9
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		全面改良する道路・道路利用者(車両・歩行者)・沿道住民		根拠法令等		(1) 地方自治法第281条2項 (2) 道路法第16条1項・42条1項 (3) 杉並区内公共下水道工事の施行の委託に関する協定							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		計画寿命平均30年の区道約345万㎡を良好な状態に維持するためには、年間約10万㎡以上の舗装打換が必要とされが、道路修繕等(道路維持補修や企業者復旧)により舗装の延命を図っていくので、当事業では年間5万㎡を施工する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		道路の維持補修計画により老朽化した道路を改良することによって、歩行者の安全性と快適性の向上及び車両の円滑な通行を図る。また車両による騒音・振動等を低減し、沿道住民の居住環境を改善する。									
	活動指標名(式)		(1) 年度毎 路面改良整備面積 (2) 路面改良整備累積面積(平成6年～)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 年度毎 路面改良整備実績 ÷ 実施計画量(単年度) (2) 路面改良整備累積面積(平成6年～) ÷ 平成22年度までの累積面積									
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%						
指標	活動指標(1)		㎡	43,272	46,278	48,854	46,032	48,122	47,874	50,777	94.8					
	活動指標(2)		㎡	342,041	388,319	390,895	436,927	485,049	532,923	686,294	70.7					
	成果指標(1)		%	104	100	106	100	105	104	100	105.0					
	成果指標(2)		%	50	57	57	64	71	78	100	71.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	445,478	635,587	602,455	636,343	564,980	624,315	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等		千円	418,868	607,629	577,075	610,193	545,300	591,720							
	(内) 委託費		千円	444,908	634,991	601,885	635,747	564,410	623,743							
	職員数(常勤   非常勤)		人	6.45	6.07	7.41	5.26	5.75	5.34	実施計画 14年度 30,000 + (1,405) ㎡ 15年度 35,000 + (2,300) ㎡ 16年度 40,000 + (1,452) ㎡ 17年度 45,000 + (1,278) ㎡ 18年度 45,000 + (1,032) ㎡ 19年度 45,000 + (1,732) ㎡ 20年度 50,000 + (940) ㎡ 21年度 50,000 + (1,654) ㎡ 22年度 50,000 + (777) ㎡						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	58,695	54,994	67,135	47,656	52,095	48,380	( )内は、暫定分流面積 目標値は、実施計画数量 の変化により異なる						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	504,173	690,581	669,590	683,999	617,075	672,695							
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	1,971	1,792	1,894	1,603	1,492	1,691							
	財源	受益者負担分	千円													
		国・都等からの支出金	千円													
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引: 一般財源 -		千円	504,173	690,581	669,590	683,999	617,075	672,695								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
18年度の主な取組み		内 容		規模		単位	事業費(千円)									
		路面改良工事等(委託等)					545,300									
		道路測量委託(委託等)					19,110									
		設計等事務費					570									
		その他 ( )					0									

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 552 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	104.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	111.0	18年度予算 執行率%	88.8
		コスト縮減工法(既存路盤の活用・機械施工の拡大)やリサイクル材の活用を積極的に取り入れコスト縮減に努めている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		交通量の増加・車両の大型化に伴い、道路の老朽化は著しい。特にバス路線の老朽が顕著に現れ、振動等の要望に対処しきれなくなっている。コストを縮減し、経費を抑えても要望を満足できない。そのため、実施計画での年間施工量を4万5千㎡とし、道路の維持補修と併せて効率的な道路の維持補修を行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	交通量の増加・車両の大型化に伴い、道路の老朽化は著しい。特にバス路線の老朽が顕著に現れ、振動等の要望に対処しきれなくなっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	車両通行による騒音・振動、側溝の排水不良箇所の是正、段差解消など。					
	今後の予測	昭和40年初頭、下水道普及のため急速に舗装化した区道は、その寿命も同時期に訪れる。約345万㎡の区道を良好な状態に維持するためには、アセットマネジメントの観点からも検討し、より効果的でコストパフォーマンスの高い維持補修計画が求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 老朽化した道路を計画的に改修していくことは、快適な交通環境の確保と沿道の居住環境の改善を図ることができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )	理由または具体的内容: 工事の設計にはコスト縮減工法等を行っているため、常に工事毎最小の経費で行っている。そのため現在の事業費で成果を向上させることはできない。					
	成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 交通量が多く損傷も早いことから、区民要望が多く寄せられる主要生活道路の路面状況を的確に把握する為に必要な路面調査を行うことにより、適切な舗装修繕計画(ライフサイクル計画)を策定し、品質確保、コストの縮減に積極的に反映出来る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 道路管理者の基本的な債務であり、受益者負担は、考えられない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: つねに工法及びコスト縮減を検討し、改善している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 企業に対する工事請負も広い意味での協働と解釈する。また、設計事務の効率を高めるため、測量等専門の企業に委託を行っている。なお、事業量に対する工事請負費は既に業務量の50%以上に達している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 昭和40年初頭、公共下水道普及のため急速に舗装化した区道は、約30年以上経過した今、老朽化が顕著に現れている。また、交通量の増加と車両の大型化が老朽化に拍車をかけ、騒音・振動等の住民要望は後を絶たない。交通量が多く損傷も早いことから、区民要望が多く寄せられる主要生活道路(主としてバス通り)の路面状況を的確に把握する為に必要な路面調査(FWDを活用した路面性状調査等)を行うことにより、適切な舗装修繕計画(ライフサイクル計画)を策定し、品質確保、コストの縮減に積極的に反映していく必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 路面性状調査を行うことによって、舗装構造の評価を行うことが出来るが、その結果、道路の補修方法によっては一時的なコスト増になる場合もある。ただし、道路のライフサイクルコストの面から考えると、将来的にはコスト縮減に繋がりに、事業の成果向上に貢献できる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 実施計画での年間施工量を現計画の4.5万㎡から5万㎡に変更した場合、その事業費は約27%増加する。また、あわせて路面性状調査を行う場合には、その分の事業費も約1.5%増加する見込みである。	



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		買物道路整備				整理番号	554	枝番号								
担当部課名		都市整備部 建設課		コード	221010	連絡先 電話番号	3428	昨年度 整理番号	571	昨年度 枝番号						
係名				施設整備係				上位施策名		No						
予算事業名				ふれあい道路の整備		コード	58250	道路交通体系の整備		5						
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(1)	施策番号		事業コード	9-2
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		カラー化する商店街道路・商店街の利用者および商店会		根拠法令等		(1) 道路法第16条1項 (2) 杉並区商店街カラー舗装取扱要綱 (3) 東京都新元気出せ！商店街事業費補助金交付要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			老朽化した道路の改良工事に併せ、商店街の要望により、カラー舗装化を行う。その際、カラー化する費用は、商店街とし、その一部を商店街に補助する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		商店街の道路をカラー化することにより、安全で快適に買物ができる歩行空間を確保し、商店街の活性化やイメージアップを図る。								
	活動指標名(式)			(1) 年度毎の買物道路整備延長(単年度) (2) 買物道路累積延長(累計)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 年度毎の買物道路整備率 = (整備延長 / 計画整備延長) × 100 (単年度) (2) 買物道路整備達成率 = (累積整備延長 / 目標整備延長) × 100								
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
	活動指標(1)		m	0	540	511	155	97	1,120							
	活動指標(2)		m	1,488	2,028	1,999	2,154	2,096	3,216	4,006	52.3					
	成果指標(1)		%	0	100	95	100	63	100							
	成果指標(2)		%	37	51	50	54	52	80	100	52.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,551	108,946	69,341	28,716	25,161	225,281	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等		千円	133	108,814	69,300	28,478	24,926	225,022							
	(内) 委託費		千円	1,418	108,814	69,300	28,478	24,926	225,022							
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.01	1.07	1.37	1.80	1.59	2.60	活動指標(2)の目標値は、16年度累計実績値(17年度実績511m, 18年度実績97m)を基準とし、以降年度の計画( )を累計加算したもので設定した。 平成19年度 阿佐谷北(360m) 下井草駅前(170m) 西荻北バス通り(590m) 合計(1,120m) 平成20年度 西荻南(380m) 合計(380m) 平成21年度 久我山南(220m) 合計(220m) 平成22年度 久我山南(190m) 合計(190m)						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	91	9,694	12,412	16,308	14,405	23,556							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	1,642	118,640	81,753	45,024	39,566	248,837							
	単位あたりコスト( - )÷		円		18,196	24,370	106,748	150,928	21,263							
	財源	受益者負担分		千円	4,021	0	0	0	0				0			
		国・都等からの支出金		千円	4,021	10,700	4,000	4,000	11,000				18,000			
特定財源計 +		千円	8,042	10,700	4,000	4,000	11,000	18,000								
差引: 一般財源 -		千円	▲ 6,400	107,940	77,753	41,024	28,566	230,837								
受益者負担比率 ÷		%	244.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
18年度の主な取組み			内 容					規 模								
			工事請負費 整備延長L=97m					1	式	20,317						
			委託料 測量委託L=1204m					1	式	4,609						
			需要費					1	式	235						
			その他 ( )							0						

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 554 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	62.6	活動指標(2)の 18年度達成率%	97.3	18年度予算 執行率%	87.6
		当初整備計画路線の一部において、地元商店街より整備取下げが成されたため、予算執行減が生じた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		買物道路整備は、都市美観や歩行者の安全性を確保するとともに、商店街の活性化を図る上で重要な事業である。商店街からの要望に応えるため、安全で快適に買物のできるショッピングプロムナードの整備を実施計画に基づき進めていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	商店街の衰退している現在、中小企業の発展と地域経済の活性化が望まれている。商店街振興を図り、魅力ある歩行者空間づくりとして道路のカラー舗装化が求められている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	商店街からカラー舗装化の要望が多いため、整備計画に基づき計画的に事業の推進を図る。					
	今後の予測	本事業は、商店街の活性化にとって重要であるため、今後も引き続き要望が寄せられると予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 商店街のカラー舗装化は、商店街を活性化し、まちに活力を向上させ、快適で魅力ある空間を創出することに寄与する。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 商店街活性化等の視点から、整備に付随する施設の更なる充実について検討を行う。(住民要望の聴取等)					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 15年度施行の都「新・元気を出せ! 商店街支援事業」の導入により、商店街の負担がカラー舗装材料の3分の1となり、従前のカラー舗装要綱に基づく負担割合の5分の2より緩和される。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 定期的に工法やコスト削減に関する検討を重ね、改善に努めている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 事業の性質上、施行にあたっての指示・確認は区自らが行う工事請負・委託形式が適切と考える。しかし、多様化する地域住民のニーズに対し、自発性・機動性・先駆性等の特性を発揮する「企業への委託(請負含む)」は住民サービスの質の向上に十分貢献でき、広い意味での協働と考える。なお、事業量に対する委託費(委託料・工事請負費等)は既に業務量の50%以上に達している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 買物道路の整備は、商店街の活性化・都市美観・人々の交流の場の促進等にとって重要な事業である。前記視点に立ち、地元商店街にとっての更なる充実を図るため、付随する施設整備について検討を行う。(他事業との連携等)	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 商店街からの要望に左右される事業のため、PRの推進や緊密な事前調整等が不可欠である。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 事業計画として、西荻平和通りの延長380mの整備等を行う予定であるが、前年度と比較し規模が縮小されているため、予算見積としては大幅な減が見込まれる。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		都市計画道路補助第131号線					整理番号	556	枝番号					
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先 電話番号	3435	昨年度 整理番号	573	昨年度 枝番号				
係名		街路整備係		上位施策名				No						
予算事業名		都市計画道路		コード	58300	道路交通体系の整備				5				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		2 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号		事業コード	8
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 すべての当該道路利用者(電線類の管理者を含む)				根拠法令等		(1) 都市計画法第59条 (2) 道路法 (3) 電線共同溝の整備に関する特別措置法					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		都市計画道路補助131号線の一部において、歩道拡幅整備と電線共同溝方式による無電柱化を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		歩道拡幅や架空線の地中化等により、沿道の住環境・防災機能・景観を向上し、より一層安全な歩行空間の確保を図る。					
	活動指標名(式)		(1) 電線共同溝敷設延長(累計) (2) バリアフリー整備延長(累計)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 電線共同溝敷設率 = (敷設延長(累計) / 敷設総延長) × 100 (2) バリアフリー整備率 = (バリアフリー整備延長(累計) / 整備対象延長) × 100					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		m	550	550	550	550	550		550	100.0			
	活動指標(2)		m	345	520	520	520	520		520	100.0			
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100		100	100.0			
成果指標(2)		%	66	100	100	100	100		100	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	512,105	347,188	241,328	8,004	4,030	33,990	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円	502	346,428	240,762	7,800	4,007	33,626					
	(内) 委託費		千円	511,603	346,428	240,762	7,800	4,007	33,626					
	職員数(常勤   非常勤)		人	5.40	2.60	2.55	0.70	0.60	0.53	当該都市計画道路に対する活動指標(1)(2)は、第一期区間(道路横断部含む)に限定している。本区間は17年度概ね完成であり、18年度は、暫定一方通行の整備工事を行った。19年度計画からは、第二期及び概成区間へ事業を移行する。そのため、目標値の変更は20年度評価の際に行う。また、19年度計画指標は、計画設計段階であることから数値化しない。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	49,140	23,556	23,103	6,342	5,436	4,802					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	561,245	370,744	264,431	14,346	9,466	38,792					
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,019,533	44,211	43,035	11,902	9,925						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0					
		国・都等からの支出金		千円	46,100	49,800	77,785	0	0					
特定財源計 +		千円	46,100	49,800	77,785	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	515,145	320,944	186,646	14,346	9,466	38,792						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容		規 模		単位	事業費(千円)							
		工事請負費 都市計画道路補助第131号線整備工事		1		式	3,990							
		委託料		1		式	17							
		需要費		1		式	23							
		その他 ( )					0							

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 556 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	50.3
		今年度は、17年度で概ね完成した第一期区間内で、暫定一方通行として機能し、安全に通行できるように工事を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		交通形態等において、関係機関、警察署等と協議・調整を行い、工法やコストを縮減し工事を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	荻窪地域は、区内最大の商業・業務集積地であり、また、荻窪駅は交通拠点である。第一期工事の完成に伴い歩車道が分離し、地下通路の完成によって駅との横断が、安全でスムーズに行き来できるようになった。また、架空線の地中化によって、道路景観や防災上の観点等インフラ整備が進み、都市機能としての骨格を成している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	道路景観や防災上の観点から、架空線の地中化に対する要望が高まっており、未整備区間においても、架空線の地中化やバリアフリー化が望まれている。					
	今後の予測	未整備区間や概成区間においても、架空線の地中化やバリアフリー化等の要望が増えたと考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 地中化による無電柱化や歩道の拡幅、段差解消によりだれもが安心して歩けるみちづくりが進み、駅から公共機関等へのアクセスが改善される。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 設計・施工にあたり、工法やコスト削減について検討を行うことにより、成果の向上が見込まれる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 道路利用者は不特定多数であること。また、電線共同溝の設置管理は、法令上道路管理者が行うこととなっている。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 道路実施設計時において、「土木構造物コスト削減計画」等に基づき、建設費の低減を図っている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 事業進捗を図るため、電線共同溝参画企業者、道路占用企業者、交通管理者等との協働は欠かせない。また、工事請負・委託も広い意味での協働と解釈する。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 当該都市計画道路の未整備区間(青梅街道以西~NTT以東間/第二期・概成区間)について、東京都施行の交差点改良工事を見据えて、各関係機関等の調整・協議を行い、沿道の住環境・景観等の向上を図り、安全で快適な道路づくりを進める。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 未整備区間の整備手法や財源確保等を明確にすることが必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 19年度に引き続き、設計業務となることから大きく増減することはない。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		都市計画道路補助226号線				整理番号	557	枝番号						
担当部課名		都市整備部 建設課		コード	221003	連絡先 電話番号	3435	昨年度 整理番号	574	昨年度 枝番号				
係名		街路整備係		上位施策名				No						
予算事業名		都市計画道路		コード	58300	道路交通体系の整備				5				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号		事業コード	8
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 都市計画道路補助226号線の利用者及び周辺居住者				根拠法令等		(1) 道路法第16条1項 (2) 電線共同溝の整備等に関する特別措置法 (3) 交通バリアフリー法					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		都市計画道路補助226号線の一部において、道路整備と電線共同溝方式による無電柱化を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		無電柱化、歩道の拡幅と段差解消等を行い、高齢者・障害者等にやさしいみちづくりを進める。また、老朽化した路面を改良し、騒音・振動等を解消する。					
	活動指標名(式)		(1) 電線共同溝整備延長(区間延長:高円寺南4-7~4) (2) バリアフリー整備延長(区間延長:高円寺南4-7~4)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標		(1) 電線共同溝整備率(整備延長÷整備対象延長)×100 (2) バリアフリー整備率(整備延長÷整備対象延長)×100					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		m	0	0	0	120	120	210	330	36.4			
	活動指標(2)		m	0	0	0	120	0	120	330	0.0			
	成果指標(1)		%	0	0	0	36	36	100	100	36.0			
成果指標(2)		%	0	0	0	36	0	36	100	0.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,613	60	0	78,988	74,437	213,133	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等		千円	10,605	0	0	78,788	74,394	212,933					
	(内)委託費		千円	10,605	0	0	78,788	74,394	212,933					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40	0.80	0.51	0.62	0.64	0.64	指標(2)のバリアフリー整備(歩道拡幅整備)は、先行工事である電線共同溝工事が、予期せぬ地下埋設物が出現したことで計画変更が余儀なくされ、工事に大幅な遅れが生じた。そのため、バリアフリー整備の年度内執行が不可能となったことから、繰越手続きにより19年度の施工となった。事業費についても同様に19年度計画に繰越額を計上した。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,640	7,248	4,621	5,617	5,798	5,798					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	14,253	7,308	4,621	84,605	80,235	218,931					
	単位あたりコスト(-)÷		円				48,475	48,675	28,562					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円				20,000	38,050					
特定財源計 +		千円	0	0	0	20,000	38,050							
差引:一般財源 -		千円	14,253	7,308	4,621	84,605	60,235	180,881						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		電線共同溝整備						120	m	51,207				
		電線共同溝、引き込み・連係管の整備(事業委託)						1	式	11,137				
		歩道拡幅整備						1	式	10,790				
		電線共同溝詳細設計の修正						1	式	1,260				
		その他 ( )								43				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 557 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	94.2
		先行工事である電線共同溝工事が、予期せぬ地下埋設物が出現したことで計画変更が余儀なくされ、工事に大幅な遅れが生じた。そのため、歩道拡幅整備の年度内執行が不可能となったことから、繰越手続きにより19年度の施工となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		整備工事に要する財源として、特定交通安全施設整備事業の補助制度を活用した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	電線共同溝工事は、輻輳する地下埋設物を縫うように施工していかざるを得ないことから、工事の進捗に遅れが生じてしまう。計画当初は、2カ年での完了を見込んでいたが、結果として3カ年事業となってしまった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高円寺地区は、バリアフリーに関心が高く、無電柱化と歩道の拡幅に大きな期待が寄せられている。また道路緑化の主となる高木についての要望や早期の完了が望まれている。					
	今後の予測	18年度施工の電線共同溝工事において、予期せぬ事態により工事の大幅な遅れが生じた。このことを受け、進行管理について関係企業との調整を行った結果、事業完了が20年度上半期から年度末へ伸びることが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 無電柱化や歩道の拡幅、段差解消によりだれもが安心して歩けるみちづくりが進み、駅から公共機関へのアクセスが改善される。また、老朽化した路面を改良することにより、騒音・振動が低減するなど生活環境が改善される。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 工法やコスト縮減について検討を行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 道路利用者は不特定多数であること。また、電線共同溝の設置管理は、法令上道路管理者が行うこととなっている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 設計にあたっては、ガス・水道等のライフラインに最も影響を与えない工法や省エネ、工期短縮など工事費の縮減を進めている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 事業を効率的に進めるためには、電線共同溝入構企業者や地下埋設物管理者及び工事請負者との協働は欠かせない。今後も、調整などを密に行い適正な進行管理に努める。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、全体事業の完了を平成20年度末と見込んでいるが、工期の短縮を目指す。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 今後、電線共同溝工事において不足の事態が発生した場合でもすぐに対処できるよう、関係企業者との調整を頻繁に行うことで計画的な進行管理を目指す。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成18～20年度の3カ年で電線共同溝整備と道路街築整備を並行して行うこととしている。このなかで、電線共同溝整備は、平成18・19年度の2カ年で完了予定であることから、平成20年度は、道路街築整備の単独事業となるため。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		第三次事業化計画					整理番号	558	枝番号					
担当部課名		都市整備部 建設課		コード	221003	連絡先 電話番号	3435	昨年度 整理番号	575	昨年度 枝番号				
係名		街路整備係		上位施策名				No						
予算事業名		都市計画道路		コード	58300	道路交通体系の整備				5				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		16年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号		事業コード	8
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		都市計画道路区施行優先3路線の利用者及び周辺居住者		(1) 都市計画法第59条 (2) 都市計画法第21条 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区部における都市計画道路「第三次事業化計画」により選定された、平成16年度～27年度の12年間に優先的に整備すべき路線のうち、杉並区施行優先3路線について事業化の方法及び優先性の検討を行う。また、優先度の高い路線から事業化の準備を進める。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 地域交通の円滑化、区民生活の利便性、安全性の向上を図る都市計画道路の整備について、区内の優先すべき3路線の事業化計画を策定する									
	活動指標名(式)		(1) 優先整備路線事業化計画策定延長 (2) 区内都市計画道路完成延長		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 優先道路事業化計画策定率(策定延長 ÷ 策定対象延長) × 100 (2) 都市計画道路完成延長(完成延長 ÷ 計画延長) × 100									
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		m	0	0	0	226	0	0	1,140	0.0			
	活動指標(2)		m	39,465	39,984	39,984	40,044	40,044	40,104	40,304	99.4			
	成果指標(1)		%	0	0	0	0	0	0	100	0.0			
	成果指標(2)		%	47	48	48	48	48	48	49	98.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	10,776	10,146	6,869	6,354	21,293	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円		10,000	9,660	6,640	5,985	21,000					
	(内) 委託費		千円		10,000	9,660	6,640	5,985	21,000					
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.40	0.80	0.41	0.62	0.64	0.64	活動指標(1)の18年度実績及び目標値の変更は、優先整備路線の事業化検討の結果、優先度の高い路線に変更したため				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,640	7,248	3,715	5,617	5,798	5,798					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	3,640	18,024	13,861	12,486	12,152	27,091					
	単位あたりコスト( - )÷		円				25,867							
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	3,640	18,024	13,861	12,486	12,152	27,091						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		区施行優先整備路線事業化に伴う調査及び概略設計						1	式	5,985				
		その他 ( )								369				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 558 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	92.5
		概ね当初計画どおりの執行となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年度は、路線毎の整備効果や課題について整理・評価を行い優先度の検討を行った。今後は、この評価結果をもとに住民説明会などを行う。 予算については、住民合意形成の進捗によるが、事業化に向けた作業として測量などを計上していることから増額となっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当初、補助215号線の事業執行は、隣接する荻窪団地の建替え計画に合わせて行う予定としていたが、団地の立替えと215号線の事業化スケジュールの整合が取れない状況となったことから、団地の立替えが先行することとなった。なお、道路の線形については都・区・URの					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	平成17年度に行った地権者への調査によると、3路線それぞれ異なった特徴があり一概には言えないが、生活の利便性、安全性の向上に期待している反面、生活環境の変化に不安を感じている声が多い。					
	今後の予測	事業化計画を策定するためには、地域住民の理解と協力をえることが不可欠である。今後、住民の合意形成を図りながら一体となって事業を進めていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:都市計画道路は、都市基盤の基本をなすものである。事業化により地域交通の円滑化、区民生活の利便性、安全性の向上を図ることができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:事業への理解と満足度の向上を図るため、地域住民の意向を十分に把握し計画の策定に反映させる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:区の道路事業であり受益者を特定できない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:計画の策定段階であり、コスト削減の余地はないが、今後、具体的な整備方針を確定する際にはコスト削減を考慮する。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 都市計画道路の計画策定には、地域住民の合意形成が最も重要であるが、その他に都市計画法、道路法、道路交通法など様々な法律との係わりが発生するこれら全てを踏まえた計画策定には、常に携わっているコンサルの技術や能力が必要不可欠である。また、今後は、住民合意形成を図るために地域住民との協働による作業が予想される。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 第三次事業化計画の策定には住民合意形成が最も重要である。そのために、地域住民の方の意見をより多く取り上げる機会として、住民説明会や懇談会などを進めていくこととなる。初年度は、説明会の開催により都市計画道路についての理解を求めるものとし、具体的な計画については、懇談会などを活用し進めるものとする。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 地域住民の方の意見は多岐に及び、強硬な反対意見があることも予想される。それぞれの意見を真摯に受け止め、地域の方々との信頼関係に基づく合意形成を図ることが重要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 住民合意形成の進捗に合わせ、計画策定に必要な測量、道路等の概略設計などを進めていくため。



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		科学と自然の散歩みち					整理番号	559	枝番号			
担当部課名		都市整備部 建設課		コード	221010	連絡先 電話番号	3428	昨年度 整理番号	576	昨年度 枝番号		
係名		施設整備係		上位施策名				No				
予算事業名		科学と自然の散歩みち		コード	58650	道路交通体系の整備				5		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		15 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		散歩道の利用者		根拠法令等 (1) 道路法16条1項42条1項 (2) 地方自治法第281条2項 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		「散歩みち」を地域と共に、守り育てるため、小学校・保育園による花壇整備・樹名板設置等に関わる支援を行い、本事業のソフト面を充実した。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		誰もが安心して、わかり易く周遊できる歩行空間の整備が完了し、今後は、地域の方々と協働で散歩みちを守り育て、住民同士がふれあいを深められる憩いの場として確保していく。					
	活動指標名(式)		(1) 樹名板設置数(単年度) (2) 整備(単年度)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 設置率 = (実績設置数 / 目標設置数) × 100 (単年度) (2) 整備率 = (実績整備延長 / 目標整備延長) × 100 (単年度)					
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		枚		100	101	70	70				
	活動指標(2)		m	2,041								
	成果指標(1)		%		100	101	100	100				
成果指標(2)		%	102									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	194,670	3,148	3,144	3,058	1,034	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円	2,559	3,000	2,996	3,000	989				
	(内) 委託費		千円	192,111	3,000	2,996	3,000	989				
	職員数(常勤   非常勤)		人	2.82	0.03	0.03	0.03	0.05		活動指標(1)については、平成17・18年度に実施した樹名板設置数(単年度)とする。 活動指標(2)については、平成16年度に実施した散歩みち整備延長(計画: 2,000m)とする。 事業内容として、平成18年度は支援事業として、地域との協働を図り花壇整備や樹名板等の取付けをバックアップした。なお、当該事業は整備等の主たる目的を達したため、事業としては平成18年度をもって終息するものとする。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	25,662	272	272	272	453	0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	220,332	3,420	3,416	3,330	1,487	0			
	単位あたりコスト( - )÷		円		4,200	4,158	4,714	7,114				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	220,332	3,420	3,416	3,330	1,487	0				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			需用費(花壇材料・樹名板材料等)				1	式	1,034			
			その他 ( )						0			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	559	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	33.8
予算上は花壇及び樹名板材料の他、各種イベント等の材料費を計上していたが、必要経費は予算見積を下回った。事業規模については、縮小されたものではなく、ほぼ計画どおり執行された。						
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	事業の性質上、散歩みちを守り育てる組織(支援隊の会)等との連携が不可欠であるため、懇談会を催し、活動についての意見交換等を行った。今後の運営については、地域が主となり、区はそれをバックアップするというスタンスを説明し、理解を得るように努めた。なお、当該事業は平成18年度をもって終息し、支援等は他事業の中で対応するため、平成19年度は事業及びそれに係る予算は存在していない。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	15年度から新規事業として立上げ、16年度には基本計画に基づく、ハード面の整備を行い、17年度からソフト面充実のための事業へと移行した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	散歩みちルートの完成で、安心して快適に歩ける。心地よく散歩できるなど好評を得ている。				
	今後の予測	現在は、区主導の支援隊活動であるが、将来的には地域住民が中心となり、散歩みちを自らの手で守り育てていくことを望む。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか <input type="text" value="貢献度 大(理由 )"/>	理由: 周回ができ、誰もが安全で心地よく歩ける散歩みちが整備された。また、地域が主体となり、活動できるための基盤ができあがった。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか <input type="text" value="ある程度できる( )"/> 成果向上のための方策 <input type="text" value="その他(具体的内容 )"/>	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: ソフト面の充実を図るため、区はバックアップ的立場で地域をサポートする。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は <input type="text" value="ない(理由 )"/>	理由または具体的内容: 不特定多数の利用者があり、受益者負担は、考えられない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか <input type="text" value="ない(理由 )"/>	理由または具体的内容: 常に、工法及びコスト縮減を検討し改善しているため常に最小の経費で行っている。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="十分に実現している( ^ )"/>	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input checked="" type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者( ^ )"/>	協働等による成果と課題: これまで地域住民と共に取組んできた散歩みちは、地域にとって憩いやふれあいの場の形成として、一定の成果を得た。今後はつくり上げた基盤を基に、地域住民が主体となり散歩みちを守り育てることを望むとともに、区はそれを裏方としてサポートしていきたい。				
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )"/>					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業としては終息するが、散歩みちを守り育てる組織(支援隊等)の更なる活動・運営の充実のため、バックアップに努めた。  (2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 住民主体の運営には、積極的な住民参加・協力の確立が不可欠である。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	当該事業は、平成18年度をもち終息したため、平成19年度以降の支援等に係る予算は他事業の中で対応する。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			生活道路の整備				整理番号	567	枝番号						
担当部課名			都市整備部 建設課		コード	221010	連絡先 電話番号	3428	昨年度 整理番号	584	昨年度 枝番号				
係名			施設整備係		上位施策名				No						
予算事業名			ふれあい道路の整備		コード	58250	道路交通体系の整備				5				
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		14年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号		事業コード	9-2
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 道路利用者(通過交通車両・歩行者)						(1) 地方自治法第281条2項 (2) 道路法16条1項 (3)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			安全で快適なアクセス道路等の整備に向け、道路整備を行う。						事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) アクセス道路等の整備を行い、道路機能を高め、歩行者が安全で快適に歩ける空間を確保する。					
	活動指標名(式)			(1) 毎年毎の生活道路整備延長(単年度) (2) 生活道路累積延長(累計)						成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 年度毎の生活道路整備率=(整備延長/計画整備延長)×100(単年度) (2) 生活道路整備達成率=(累積整備延長/目標整備延長)×100					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
	活動指標(1)		m		653	620	—	—							
	活動指標(2)		m	484	1,137	1,104	1,104	1,104	1,104	1,840	60.0				
	成果指標(1)		%		100	95	—	—							
	成果指標(2)		%	26	62	60	60	60	60	100	60.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,575	75,397	58,151	20,000	9,058	2,515	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内)投資的経費等		千円	0	75,364	58,127	19,551	8,609	1,944						
	(内)委託費		千円	1,575	75,364	58,127	19,551	8,609	1,944						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.01	0.75	1.19	0.07	0.30	0.10	活動指標(1)については、単年度事業により目標値は設定しない。 活動指標(2)の目標値については、16年度累計実績値(17年度実績1,104m)を基準とし、以降年度の計画( )を累計加算したもので設定した。 平成22年度 特別区道290/1848/2481(736m) 合計(736m) なお、平成18~21年度については、整備計画なし。 平成18年度の予算執行は、杉並公会堂開設に伴う、周辺の案内板や標識等の設置工事を行ったため、整備延長としての実績なし。					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	91	6,795	10,781	634	2,718	906						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	1,666	82,192	68,932	20,634	11,776	3,421						
	単位あたりコスト( - )÷		円		10,456	17,427									
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	1,666	82,192	68,932	20,634	11,776	3,421							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)						
			工事請負費 杉並公会堂周辺案内標識等設置工事				1	式	8,123						
			委託料 「すぎなみの輝き度向上」ロゴ横断幕設置、管理等運営委託				1	式	486						
			需要費				1	式	449						
			その他 ( )						0						

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 567 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	45.3
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年度において、杉並公会堂周辺道路の整備を行うとともに、当該公会堂に係る案内標識等の設置工事を予定していたが、東京都及びJR、東京メトロ等の調整に時間を要し、執行に至らなかったため、平成18年度に繰越し執行したが当初見積金額を下回り減が生じた。また、緊急対応として「すぎなみの輝き度向上」ロゴ横断幕設置、管理等運営委託を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並区バリアフリー基本構想の策定に伴って、段差改良を行い誰もが円滑に移動できる空間へと整備されてきた。今後も安全で快適な人にやさしい道づくりが望まれている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	地域住民はもとより施設利用者にとって、アクセス道路や駅前広場機能の充実が図られており、今後も事業に対する期待は大きい。					
	今後の予測	関連まちづくり計画等に付随し、安全で快適な人にやさしいアクセス道路の整備が今後増加すると予測する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由 )	理由: 道路機能を高め、安全で快適な歩行者空間を確保できる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: バリアフリーの視点に立ち、整備に付随する施設の更なる充実について検討を行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 不特定多数の利用者があり、受益者負担は不適切である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 定期的に工法やコスト削減に関する検討を重ね、改善に努めている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 事業の性質上、施行にあたっての指示・確認は区自らが行う工事請負・委託形式が適切と考える。しかし、多様化する地域住民のニーズに対し、自発性・機動性・先駆性等の特性を発揮する「企業への委託(請負含む)」は住民サービスの質の向上に十分貢献でき、広い意味での協働と考える。なお、事業量に対する委託費(委託料・工事請負費等)は既に業務量の50%以上に達している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 道路管理者自らが行う道路の高質化事業であるため、関連の既定計画(まちづくり計画・地区計画等)を視野に入れ、整備箇所の抽出・整備手法等を十分検討の上、計画的に整備実施を行う必要がある。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 整備実施にあたり、整備手法、実態管理、財源確保等を明確にする必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 整備に係る工事請負費・委託料の執行予定がないため、平成19年度規模の予算見積が見込まれる。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			駅周辺の整備					整理番号	568	枝番号					
担当部課名			都市整備部拠点整備担当課		コード	220309	連絡先 電話番号	3373	昨年度 整理番号	586	昨年度 枝番号				
係名			拠点整備担当係					上位施策名		No					
予算事業名			駅周辺の施設整備		コード	58550	道路交通体系の整備		5						
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		15年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号		事業コード	6
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 当該駅を横断する踏切等の利用者及び当該駅利用者						(1) 地方自治法第281条第2項 (2) 杉並区まちづくり基本方針 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			杉並区と鉄道事業者が、国の補助事業を活用して、駅舎橋上化、駅前広場の整備、南北自由通路の設置、バリアフリー設備の設置を行う。						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 踏切による交通混雑緩和、バリアフリー施設の設置で、当該駅周辺の安全性と利便性の向上を図る。					
	活動指標名(式)			(1) 南北自由通路設置工事数 (2) 調査・設計委託数						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 南北自由通路設置工事率(実績数 ÷ 目標値) × 100 (2) (代) 調査・設計委託率(実績数 ÷ 目標値) × 100					
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%				
	活動指標(1)		駅	0	1	1	2	1	3	7	14.3				
	活動指標(2)		件	1	1	1	2	1	1	4	25.0				
	成果指標(1)		%	0.0	14.3	14.3	42.9	28.6	71.4	100	28.6				
	成果指標(2)		%	25.0	50.0	50.0	100.0	75.0	100.0	100	75.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	72,828	336,830	75,263	802,007	521,534	571,630	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円	72,491	336,230	74,934	801,507	521,513	571,300						
	(内) 委託費		千円	72,491	336,230	74,934	801,507	521,513	571,300						
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.92	2.00	2.06	2.00	2.13	2.90	目標値は「下井草駅」(委託1、工事3)、「西永福駅」(委託2、工事2)、「永福町駅」(委託2、工事2)の3駅を対象としている。  <H18累計実績> 工事数 下井草駅H17(1)+H18(1)=2 委託数 下井草駅H16(1)+西永福駅H17(1)+永福町駅H18(1)=3					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,372	18,120	18,664	18,120	19,298	26,274						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	81,200	354,950	93,927	820,127	540,832	597,904						
	単位あたりコスト( - )÷		円		18,720,000	18,993,000	9,310,000	19,319,000	8,868,000						
	財源	受益者負担分		千円						17年計画額は、翌年繰越額 221,250千円を含む。 18年計画額は、前年度繰越額 221,250千円、翌年繰越額 279,700千円を含む。 19年計画額は、前年度繰越額 279,700千円を含む。					
		国・都等からの支出金		千円	5,000	89,450	22,100	246,200	125,000				206,800		
特定財源計 +		千円	5,000	89,450	22,100	246,200	125,000	206,800							
差引:一般財源 -		千円	76,200	265,500	71,827	573,927	415,832	391,104							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			下井草駅 南北自由通路整備(委託等)					1	式	436,950					
			下井草駅 駅舎橋上化助成					1	式	81,413					
			永福町駅 自由通路駅前広場基本構想委託					1	式	3,150					
			その他 (国庫補助及び駅周辺の施設整備に係る事務経費)							21					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 568 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	50.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	50.0	18年度予算 執行率%	65.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		下井草駅南北自由通路は完成し、駅前広場整備工事はH19.7に完成予定である。西永福駅南北自由通路新設工事は、支障物の移設工事に時間を要し、橋上駅舎化工事に関しても、鋼材製作品の納期が遅れにより、翌年へ繰り越した。永福町駅南北自由通路及び駅前広場実施設計委託は、南側降り口の検討が必要であり、早急の決定が困難であるため翌年へ繰り越した。 事業を計画通り進めて行くために、随時、鉄道事業者と協議・調整を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	下井草駅、西永福駅及び永福町駅とも南北アクセス機能がかけており、駅に隣接し大変混雑する踏み切りの解消が長年の課題となっており、地域住民からも要望を受けていた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域住民から、南北アクセスについて期待されており、事業の早期実現が望まれている。					
	今後の予測	下井草駅は、平成19年7月の完成予定である。西永福駅は平成19年度末の完成に向けて、永福町駅は平成21年度末の完成に向けて、鉄道事業者と進行管理及び協議を進める。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由： 踏み切りの混雑が解消され、バリアフリー施設の設置で駅周辺の安全性・利便性が高められる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容：					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容： 鉄道事業者と協議しながら事業が計画通り進むよう調整して行く。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： 不特定多数の利用者があり、受益者負担はなじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容： 施工にあったっては、資源の再利用や省エネルギーに努め、工事期間の短縮、工事費の縮減を図っている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 下井草駅は南北自由通路等は区が西武鉄道に事業委託する。駅舎橋上化等は下井草駅整備株式会社が主体で行い区が補助金を助成する。 西永福駅は駅舎橋上化・南北自由通路等の設置は京王電鉄株式会社が事業主体で行い事業費の一部を区が補助する。駅前広場の整備は区が行う。 永福町駅は駅舎橋上化は京王電鉄株式会社がを行い、南北自由通路等の設置は京王電鉄株式会社が事業主体で行い事業費の一部を区が補助する。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業が実施計画どおり通り進むよう、国、都や鉄道事業者等と調整して行く。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 国の補助体系が変わったため、今後新規事業については国との関係を密にしていく。 永福町駅については、駅入り口の用地を確保するために地権者との協議を粘り強く行っていく必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 事業を計画通り進めて行くために、随時、鉄道事業者と協議調整を行うとともに、国や都と連携を図っていく。 永福町駅の南口と北口との地域分断の解消を図るため、駅舎の橋上化、南口の開設や自由通路整備のための設計を行う。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			高円寺駅周辺の整備				整理番号	569	枝番号						
担当部課名			都市整備部 建設課		コード	221003	連絡先 電話番号	3435	昨年度 整理番号	587	昨年度 枝番号				
係名			街路整備係			上位施策名			No						
予算事業名			駅周辺の施設整備		コード	58550	道路交通体系の整備			5					
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		17 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号		事業コード	6
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 高円寺駅利用者及び周辺居住者				根拠法令等		(1) 道路法第16条1項 (2) 交通バリアフリー法 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			地域住民の交通の利便性と安全で快適な歩行空間の確保を図るため駅前広場や周辺道路の整備を行う。 駅前広場の整備は、平成20～22年度で行い、随時供用開始する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		駅前広場としての機能の充実や、地域住民の交通の利便性と安全で快適な歩行空間の確保を図るため、駅前広場や周辺道路の整備を行い、まちの活力を向上させる。					
	活動指標名(式)			(1) 個別(北口・南口)広場整備完成面積 (2) 高円寺駅周辺整備完成面積				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 個別(北口・南口)広場整備完成率(個別完成面積÷個別計画面積)×100 (2) 高円寺駅周辺整備完成率(完成面積÷計画面積)×100					
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%				
	活動指標(1)		㎡	0	0	0	0	0	0	6,232	0.0				
	活動指標(2)		㎡	0	0	0	0	0	0	9,362	0.0				
	成果指標(1)		%	0	0	0	0	0	0	100	0.0				
	成果指標(2)		%	0	0	0	0	0	0	100	0.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円		2,500	0	10,551	9,989	18,591	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円		2,500	0	10,396	9,975	18,400						
	(内) 委託費		千円		2,500	0	10,396	9,975	18,400						
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.40	0.80	0.30	0.62	0.64	0.64						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,640	7,248	2,718	5,617	5,798	5,798					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	3,640	9,748	2,718	16,168	15,787	24,389						
	単位あたりコスト( - )÷		円												
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	3,640	9,748	2,718	16,168	15,787	24,389							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			高円寺駅前広場整備基本計画の策定					1	式	9,975					
			高円寺駅周辺の町会並びに商店会の代表者による懇談会の開催					5	回	14					
			その他 ( )							0					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 569 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	94.7
		当初の計画どおり、基本計画の策定や懇談会の運営など適正に行われた。			
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		地域住民の意向を反映させた駅前広場整備基本計画の策定を行うため、高円寺駅隣接の町会並びに商店会の代表者16名で構成する懇談会を平成18年7月から5回開催した。			
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	高円寺駅舎のバリアフリー対策の完了及びホテル建設が完了しオープンした。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	商店や地域の活性化を図るための整備とし、高円寺をイメージする演出、水や緑による個性の創造、憩いの場やイベントが行える空間などが寄せられている。			
	今後の予測	交通機能が集中する駅前広場の工事となるため、地域住民や駅利用者の理解と協力が欠かせない。また、関係機関との十分な調整・協議が必要である。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 地域住民・駅利用者の利便性と安全で快適な歩行空間が確保され、まちの活力向上を図ることができる。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 地域住民等の意見を取り入れる機会とし、懇談会を活用し、事業への理解と満足度の向上を図る。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 駅周辺の整備事業であり受益者を特定できない。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 工事設計にあたっては、工事期間の短縮、工事費の縮減を図る。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 計画策定には、交通管理者や交通事業者など多岐にわたる協議・調整が必要であることから、技術的なノウハウなどコンサルへの委託は欠かせない。また、事業遂行には、地域住民の意向を把握する必要があることから、今後も懇談会等の開催が必要である。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成20年度から3カ年計画で工事を施工するが、交通機能が集中する駅前広場であることから、円滑な工事の進捗を図るには地域住民や交通事業者、交通管理者との関係が必要である。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在行っている懇談会を工事期間中も継続することで地域住民の工事等に対する要望を把握することができる。また、交通事業者、交通管理者など定期的な調整を行っていく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成20年度から3カ年は、整備工事の実施期間となることから予算の大幅な増となる。	



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共交通の計画・調整						整理番号	570	枝番号	1		
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先 電話番号	3553	昨年度 整理番号	588	昨年度 枝番号			
係名				交通対策係				上位施策名		No			
予算事業名				公共交通体系の整備		コード	62350	道路交通体系の整備		5			
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		3年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号 施策番号 事業コード			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住、来訪者 区内駐車場建設をしようとする個人及び法人				根拠法令等 (1) 駐車場法第2条の2 (2) 都区駐車場建設資金融資あっせん・利子補給制度実施要綱 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			交通政策の調査・研究及び交通事業者との連絡調整 東京都・東京都駐車場公社・23区共同による駐車場整備 基金制度に基づく駐車場建設基金融資あっせん、利子補給 の受付業務(平成16年4月をもって同制度は廃止)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 交通事業者との連絡を密にすることにより、公共交通利用者の利 便性向上を図っていく。また、駐車場整備による路上駐車解消 及びそれに伴う交通渋滞の緩和を図る。					
	活動指標名(式)			(1) 交通事業者連絡会(バス)の開催回数 (2) 駐車場建設資金融資あっせん・利子補給受付件数(相談含む)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 駐車場整備台数 (2) 融資件数/受付件数					
総事業費・コスト把握	区分		単位	16年度 実績		17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
	指標	活動指標(1)		回	2		2		2		2		
		活動指標(2)		件	0		0		0		0		
		成果指標(1)		台	0		0		0		0		
		成果指標(2)		件	0		0		0		0		
	事業費		千円	13,650		53		45		53	15	55	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  平成16年度事業費は 交通量調査委託費 13,650千円
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円	13,650									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.20		0.20		0.18		0.30	0.15	0.20	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,820		1,812		1,631		2,718	1,359	
非常勤職員分		千円	0		0		0		0	0	0		
総事業費 ++		千円	15,470		1,865		1,676		2,771	1,374	1,867		
単位あたりコスト( - )÷		円	7,735,000		932,500		838,000		1,385,500	1,374,000	933,500		
財源	受益者負担分		千円										
	国・都等からの支出金		千円										
	特定財源計 +		千円	0		0		0		0	0	0	
	差引: 一般財源 -		千円	15,470		1,865		1,676		2,771	1,374	1,867	
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0		
18年度の主な取組み			内 容						規模	単位	事業費(千円)		
			計画調整事務費								15		
			駐車場整備促進事務費								0		
			その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 570 枝番号 1

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	50.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	28.3
		交通事業者連絡会(バス)を1回実施したが、運営経費として実績による残が生じた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年4月をもって駐車場整備基金制度は廃止されたため、駐車場整備に関しては実績なし。平成19年度は、交通事業者連絡会の運営経費のみ予算計上している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成2年における都内の違法駐車台数は20万台を超えたが、駐車場の整備等により平成18年度には8万台を下回るなど、減少方向で推移している。杉並区においては、駐車場整備基金を活用し、5ヶ所168台の整備を行った。しかし、駐車問題の現状及び対策への取組み等については各区で温度差があることから、平成16年3月に同基金の廃止が決定し、同年4月に同制度は廃止された。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	現段階では、杉並区においては、深刻な違法駐車問題が発生しているとはいえないが、平成18年6月1日から施行された道路交通法の一部改正による違法駐車対策の影響なども検証し、必要に応じて実情に合わせた取組みを行っていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 小(理由 )	理由: 杉並区における駐車場整備基金制度による駐車場整備台数は現在まで168台であり、施策への貢献度は大きいとはいえない。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )	理由または具体的内容: 現段階では、杉並区においては、都心部や繁華街などに比べ、深刻な違法駐車問題が発生しているとはいえない。(駐車場整備に係る予算は計上していない。)					
	成果向上のための方策	理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 当該事業費に関係する受益者負担はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 当面は、交通事業者連絡会の運営経費のみを予算計上していく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 今後も交通事業者連絡会は継続していく。駐車場対策に関しては、財団法人東京都道路整備保全公社(旧財団法人東京都駐車場公社)の行う駐車場対策にあわせ、各区の実情に合わせた取組みを行っていく。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 駐車場整備基金は、都区の違法駐車対策に一定の役割を担ってきた。当該基金は廃止され、貸付金が返還されたが、今後は財団法人東京都道路整備保全公社の行う駐車場対策にあわせ、各区の実情に合わせた違法駐車対策への取組みを行っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 都内の駐車問題の現状は各区で緊急度等において差があるので、当区の実情に合わせた最適な対策を模索していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	当面は、交通事業者連絡会の運営経費のみを予算計上していく。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共交通の計画・調整						整理番号	570	枝番号	2	
担当部課名		都市整備部拠点整備担当課			コード	220309	連絡先 電話番号	3373	昨年度 整理番号	588	昨年度 枝番号	2
係名		拠点整備担当係						上位施策名		No		
予算事業名		公共交通体系の整備			コード	62350	道路交通体系の整備		5			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				根拠法令等					
	区内の駅利用者						(1) 交通施設バリアフリー化施設整備費補助交付要綱 (2) 杉並区鉄道駅エレベーター等整備事業補助金交付要綱 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		鉄道事業者が区内の鉄道駅にエレベーター等の垂直移動装置を整備する際に、その経費の一部を補助することにより整備を誘導し、もって地域における福祉のまちづくりの推進を図る。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者・障害者等が安全かつ身体的負担の少ない方法で鉄道又は軌道のサービスを受用できるようにする。			
	活動指標名(式)		(1) エレベーター設置数 (2) エレベーター設置駅数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 設置率(エレベーター設置済補助対象駅数/補助対象駅数) × 100 (2) バリアフリー化(エレベーター設置済駅数/区内対象駅数) × 100			
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%		
指標	活動指標(1)		基	0	4	4	3	3	0			
	活動指標(2)		基	0	3	3	1	1	0			
	成果指標(1)		%	31	62	62	77	77	85			
	成果指標(2)		%	39	61	61	72	72	78			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	58,440	41,647	100,000	100,000	0	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	58,440	41,647	100,000	100,000	0			
	(内) 委託費		千円		58,440	41,647	100,000	100,000	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.00	0.50	0.50	0.50	0.50	0.10	19年度予算は計上されて いないが、鉄道事業者の 相談及び国、都との調整等 で人件費のみ計上。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	4,530	4,530	4,530	4,530	906			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	62,970	46,177	104,530	104,530	906			
	単位あたりコスト( - )÷		円		1,132,500	1,132,500	1,510,000	1,510,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	0	29,219	20,823	50,000	50,000			0
特定財源計 +		千円	0	29,219	20,823	50,000	50,000	0				
差引:一般財源 -		千円	0	33,751	25,354	54,530	54,530	906				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		荻窪駅EV設置助成						3	基	100,000		
		その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 570 枝番号 2

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	100.0
		国の補助方針は、乗降客が1万人以上10万人未満(高円寺駅、八幡山駅)の場合は60%を補助するため、区も同様の補助額とした。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		東京都および鉄道事業者との連絡調整を密に行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	高齢者、障害者等を含むすべての人が安全、自由かつ円滑に行動することができ、社会生活に支障なく参加できるよう、バリアフリー化の需要はますます高まっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	バリアフリー化されていない駅について、エレベーター設置の要望が多数寄せられている。					
	今後の予測	バリアフリー化が進むにつれ、バリアフリー化されていない駅について、エレベーター設置の要望がより多く寄せられると考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 鉄道利用に係る一般旅客、高齢者、身体障害者等の利用の利便性、円滑性及び安全性の向上が図れる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 国・都や鉄道事業者との連絡調整を密に行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 不特定多数の利用者があり受益者負担になじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 補助金の交付決定をするにあたり、補助対象項目を厳しくチェックしている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( へ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( へ )	協働等による成果と課題 鉄道事業者が行うエレベーター設置工事費の一部を助成する。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 国・都や鉄道事業者との連絡調整を密に行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 今後、エレベーターの設置が物理的に不可能な場合が考えられるので、駅舎全体の改良を視野に入れて、国・都及び鉄道事業者と調整して行く。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 事業の予定は無い。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			南北バス運行					整理番号	571	枝番号		
担当部課名			都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先 電話番号	3553	昨年度 整理番号	589	昨年度 枝番号	
係名			交通対策係		上位施策名				No			
予算事業名			公共交通体系の整備		コード	62350	道路交通体系の整備				5	
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		7 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 1 施策番号 3 事業コード 10 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住者、通勤・通学者、来訪者		(1) 地方自治法第232条の2 (2) 道路運送法第4条 (3) 杉並区南北バス運行協定書						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			・杉並区南北バス交通「すぎ丸」(けやき路線、さくら路線)の継続運行 ・杉並区南北バス交通新規路線(第三路線)の選定調査		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区内南北交通不便地域の解消を図り、移動困難者に対し交通手段を提供するとともに、地域間の交流を促進する。						
	活動指標名(式)			(1) 南北バス「すぎ丸」運行本数 (2) 南北バス「すぎ丸」路線全長		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 南北バス「すぎ丸」年度総利用者数 (2) 南北バス「すぎ丸」年度1日平均利用者数						
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
					計画	実績	計画	実績				
	活動指標(1)		本	43,992	53,836	53,865	53,842	53,872	53,850			
	活動指標(2)		m	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000			
成果指標(1)		人	695,044	785,000	786,944	785,000	819,198	815,000				
成果指標(2)		人	2,103	2,150	2,163	2,150	2,245	2,150				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	84,546	33,804	25,194	29,265	18,226	40,223	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	69,096								
	(内) 委託費		千円		5,000	4,830	2,000	1,040	5,400			
	職員数(常勤   非常勤)		人	2.60	2.45	2.18	2.30	2.21	2.50	16年度以降の活動指標、成果指標は2路線の計(さくら路線は11月運行開始につき16年度の数値は5ヵ月分)  16年度の事業費はさくら路線開通に係る初期投資を含む		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	23,660	22,197	19,751	20,838	20,023	22,650			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	108,206	56,001	44,945	50,103	38,249	62,873			
	単位あたりコスト( - )÷		円	889	1,040	834	931	710	1,168			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	2,393	6,000	4,141	6,000	3,327			2,916
特定財源計 +		千円	2,393	6,000	4,141	6,000	3,327	2,916				
差引: 一般財源 -		千円	105,813	50,001	40,804	44,103	34,922	59,957				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			運行経費(委託等)						15,081			
			啓発・PR						1,881			
			新規路線運行調査(委託等)						1,022			
			道路環境整備						242			
その他 ( )							0					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 571 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.1	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	62.3
		南北バス運行経費(さくら路線)について、乗車人員の増加(前年比23,000人増)により運賃収入が増えたため、補助金の支出が抑えられた。 また、さくら路線の浜田山駅交通整理員を2人から1人に変更した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		運行事業者の運行経費削減努力及びPR・サービス向上等の努力による「すぎ丸」の利用者の増加により、けやき路線については前年度に引き続き、区における運行経費補助額が0円となった。さくら路線についても、利用者数が増加方向で推移し、運行経費補助額は予算額を下回った。なお、さくら路線については、フォローアップ調査によって明らかになった課題・改善点等を検証の上、必要な整備を行い、利用者の増に繋げていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	けやき路線は、運行開始以来、区内南北方向の交通手段として定着している。平成18年度も運賃等収入が年間の運行経費を上回り、黒字収入となっている。さくら路線については、平成16年11月に運行を開始したが、区民にも認知され、利用者も増加方向で推移している。また、実施計画に基づき、区西部地域の交通不便地域の解消を目的とした新路線(第三路線)について、平成20年度の運行開始に向け、平成17年度から基礎調査等の準備を開始した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の「すぎ丸」に対する評価は、運行システム、運行回数、運転士の対応等あらゆる面で高いものとなっている。さくら路線については、浜田山以南の交通不便地域の解消に寄与し、路線沿線住民等の期待に応えることができた。今後の新路線選定においても、区民から様々な要望があり、期待が高いことが伺える。具体的な要望としては、その他の交通不便地域の住民からすぎ丸を通してほしい、けやき路線の運行本数を増やしてほしい、停留所を安全な場所に移設してほしいなどが寄せられている。					
	今後の予測	南北交通が不便であるという杉並区の交通特性や高齢者・子連れの主婦等の足として、「すぎ丸」の需要は高く、重要な役割を担っている。今後も、他の地域から、交通不便解消の要望及び必要性が高まってくることが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:区内南北方向の交通改善により、高齢者や子連れの主婦等、昼間移動者をはじめとした沿線住民等の交通利便性向上といった直接的効果だけでなく、地域間交流の促進、交通事故の防止、排気ガス減少、女性や児童の(夜間一人歩きの減少等による)安全確保による地域改善、商業地域の活性化など波及的効果も見られる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:けやき路線・さくら路線ともに、利用者増のためのPR・サービス向上を図っていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:「すぎ丸」の需要が高い理由のひとつは、100円という利用料金の設定である。運行開始以来、着実に利用者も増えてきており、施策的にも収支面で一定の均衡が保たれていることもあり、見直す必要はないと考える。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:コミュニティバスが継続的に安定した運行を行うには、区による運行経費等への助成が必要である。ただし、利用者数の増加、運行経費の抑制への努力は行っていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 現行の協働による運行システムは、区民からも高い評価を得ており、一定の成果をあげている。今後も、円滑な運行を確保するため、現行どおり、運行事業者に対して収支不足分の補助を担保していく。また、引き続き、利用者増のためのPR・サービス向上を図るとともに、運行経費抑制への努力も継続して行っていく。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 けやき路線は昨年同様黒字、さくら路線も収益が当初の見込みを上回る結果となり、一定の成果を上げているので、引き続き区民に対して同質のサービスを提供していくことで、この成果を維持していく。さくら路線については、フォローアップ調査により明らかになった課題等について、実態を検証の上改善を図っていく。また、区西部地域の交通不便地域の解消を目的とした新路線(第三路線)について、平成20年度の運行開始に向け、路線選定等の準備を進めていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 さくら路線のフォローアップ調査により明らかになった課題については、関係機関(警察等)との協議が必要となる。それらの課題に対して、利用者及び道路交通上の安全性・影響等も検証の上、改善策を検討していく。 また、新路線(第三路線)の路線選定については、調査結果や住民ニーズ等を踏まえ、慎重に選定していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	既存路線については、引き続き、利用者増のためのPR・サービス向上を図り、収入増に努めていく。新路線(第三路線)については、実施計画に基づき、平成20年度の運行開始に向け、路線選定・環境整備等の準備を進めていく。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		土木事務所維持管理(庶務事務)				整理番号	585	枝番号				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222701	連絡先 電話番号	4633	昨年度 整理番号	603	昨年度 枝番号		
係名					工務係			上位施策名		No		
予算事業名					土木事務所維持管理			コード		56900	道路交通体系の整備	5
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		32 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 土木事務所・維持課職員、材料置場等関連施設利用者、施設管理人				根拠法令等 (1) 地方自治法 第281条 (2) 杉並区土木公園事務所庶務規程 (3) 杉並区立施設管理人及び管理人室使用要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		施設の運営にあたり、日常的・定期的業務並びに修繕を計画し、それに基づき適切な保全・維持管理を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設の機能・性能を常に良好な状態にし、安全で能率的な環境を確保する。					
	活動指標名(式)		(1) 保全・維持管理面積		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合率 = 不具合件数/点検及び破損件数 (2)					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度計画	17年度実績	18年度計画	18年度実績	19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)		㎡	2,206	2,206	2,206	1,291	1,291	1,291			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,198	15,698	16,228	10,835	8,168	11,159	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円			1,956						
	(内) 委託費		千円	3,353	3,713	3,888	2,426	2,145	2,598			
	職員数(常勤   非常勤)		人	3.16	3.16	3.16	2.18	2.29	2.24			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	28,756	28,630	28,630	19,751	20,747	20,294		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	41,954	44,328	44,858	30,586	28,915	31,453			
	単位あたりコスト( - )÷		円	19,018	20,094	19,448	23,698	22,397	24,363			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	41,954	44,328	44,858	30,586	28,915	31,453				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			施設光熱水費					3	箇所	3,755		
			建物清掃請負及び機械保守委託(委託等)					1	箇所	2,082		
			電話及び通信費					1	箇所	640		
			その他 (備品、維持管理用品等 )							1,691		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 585 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	75.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当初は、事務所が土木と公園に分かれていたが、平成5年度に統合され4ヶ所の土木公園事務所になった。同時に区内を二分して管轄するように工事第一課・第二課が組織されたが、平成13年度から区内全域を維持課が管轄。事務所も土木と公園に分割されそれぞれ2ヶ所の体制となった。なお、平成18年度からは、維持課と2土木事務所についてはこれを一本化し、かかる事業については杉並土木事務所1箇所で統合管理することとなった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	敷地の地盤沈下、施設の老朽化は年々進み防災を含めた安全性の確保が重要である。日常点検を徹底して大規模修繕の予防に努めるが、修繕費用は上昇する見込みである。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:維持管理という性質上、施設への貢献度を図るのは難しい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:不具合箇所を早期発見することにより、同じ事業費でより多くの箇所を修繕できる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:施設管理人の光熱水費等の使用料の見直し。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:すでに土木事務所を統合し、機能を1箇所に集約することで、維持管理費の縮減を図っている。資材置き場、保有車輛等も含め、住民サービスを維持するためには、現状を維持する必				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題:施設の清掃と機器の保守点検等は、専門技術を要する知識経験のある事業者へ委託している。このほか光熱水費外で区が行っているのは、公印管守、所の予算、決算及び会計、他の係に属さないこと等であり、道路管理者の維持管理部門としての適切で責任ある業務の遂行において、現在のあり方が効果的である。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 引続き維持運用コストの節減に尽力するとともに、効果的な施設の延命を図る。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設管理人の負担金については、区立施設管理人及び管理人室使用要綱の見直しを始めとした全庁的な対応が必要。施設の日常点検を的確に行うには、ある程度の専門的な知識が必要となる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 効果的な施設の延命・運用を図るため、順次適切な修繕について検討を行う。		



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		占用・使用許可、取締				整理番号	586		枝番号				
担当部課名		都市整備部土木管理課		コード	220715	連絡先 電話番号	3415		昨年度 整理番号	604	昨年度 枝番号		
係名 監察指導係					上位施策名			No					
予算事業名 占用・使用許可、取締					コード		57700		道路交通体系の整備			5	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 道路・河川・橋梁及び公共溝渠等の利用者				根拠法令等 (1) 道路法第16条、42、46、71条 (2) 河川法第9、75、89条 (3) 杉並区公共溝渠管理条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		・建築確認申請時に公共溝渠に隣接する土地所有者等と立会い、敷地境界の確認と是正指導。 ・警察との合同指導、道路パトロール及び苦情等に基づき、はみ出し商品、置き看板、はみ出し樹木、ボンコツ車両などについて調査指導、撤去を行う。 ・チラシ配布などによる道路等適正利用の啓発。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 安全で快適な歩行空間を確保する。						
	活動指標名(式)		(1) 建築確認に伴う不法占用の是正指導活動回数 (2) 道路等不正使用及びはみ出し樹木に対する指導の活動回数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 建築確認に伴う指導により是正された面積 (2)						
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%			
	活動指標(1)	回	1,771		1,924		1,250						
	活動指標(2)	回	2,135		2,004		2,070						
	成果指標(1)	m <sup>2</sup>	51		31		49						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,302	1,054	644	470	469	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤   非常勤)		人	10.06	10.00	10.01	4.00	4.06	4.00	指標については18年度より、路上放置車両(オートバイ、自動車)に関する事務が交通対策課自転車対策係に移ったため、新たな指標を設定した。 平成16年度については、新たに始まった違反広告物除却活動協力員制度にかかる経費を便宜上本事業に追加計上している。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	91,546	90,600	90,691	36,240	36,784	36,240				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	92,848	91,654	91,335	36,710	37,253	36,240				
	単位あたりコスト( - )÷		円	52,427		47,471		29,802					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	92,848	91,654	91,335	36,710	37,253	36,240					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		土地所有者との立会い、境界確認是正指導					49	m <sup>2</sup>					
		土地所有者との立会い、境界確認是正指導					70	箇所					
		路上はみ出し樹木等の是正指導					108	箇所					
		その他 ( )							469				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 586 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	99.8
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		道路・河川・橋梁及び公共溝渠における不法占用・不正使用の是正に向け、関係署との連携した取り組みやパンフレットによる区民への啓発活動を行った。 路上放置自動車及び放置バイクに対する調査指導、撤去については、平成18年度より交通対策課自転車対策係に移管した。 水路敷の払い下げ等を含めた幅広い対応は、個別案件ごとの対応に留まった。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	水路については、国有財産であったこともあり、越境の建物が多かった。これが平成13～16年度に地方分権一括法に基づき移管され、区が所有者として管理する必要が生じた。違反広告物除却活動協力員制度については、前々年度より別途事業評価としている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	道路のはみ出し商品、違反広告物、はり出し樹木など、道路の適正利用に関する要望・苦情が寄せられている。				
	今後の予測	水路等の不法占用は少しずつながらも是正されてきている。しかし、道路等の不正使用については依然後を絶たない傾向にあることから、今後も粘り強く指導等実施する必要がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由： 水路等の不法占用の是正は、一步一步着実に成果を上げてきている。一方道路等の不正使用は、バリアフリーが求められる現在、積極的に進めていく必要がある。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容： 現行法制度下においては、不法専用者との粘り強い交渉が最も有効な方策とならざるを得ない。関係機関による総合的な対応と、不法占用者への継続した取り組みが重要となる。既に是正指導にあたっては、他課及び関係各署との連携のもと粘り強い継続的な取り組みを実施しており、大幅な成果向上は難しい。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： 道路・河川・橋梁及び公共溝渠の監察・是正指導に関連した事業は、区民全てが利益を得る類のもので、一部の利用者へのみ応分負担を求める受益者負担にはなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容： 監察業務は、不法占用者・不正使用者に対する是正指導など住民対応が主であり、更なる削減の余地はない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方：	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 区の財産権の主張や規制を伴った行為であるため、公正な立場を有した直接の管理者である行政が、責任を持って行う必要がある。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・建築確認申請に伴う是正指導は着実に成果を上げているが、幅員狭小や平然と占有され通行が不能である水路敷など、区民にとって本当に歩行者空間としての整備が必要であるか疑問を感じる箇所もあることから、こうした箇所の取扱いについて、平成18年度中の取りまとめを目指し検討を開始し、水路の調査を一部実施したが、結論が出ていないため本年度も継続してゆく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 住民対応が主であり、事業費の増減は見込めない。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			雨水桧清掃					整理番号	587		枝番号			
担当部課名			都市整備部杉並土木事務所		コード	222701		連絡先 電話番号	4637		昨年度 整理番号	605		昨年度 枝番号
係名			私道整備担当係長					上位施策名			No			
予算事業名			私道整備助成		コード	57850		道路交通体系の整備			5			
事務事業の概要	事業開始年度			● 昭和 ○ 平成		39 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業			政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 私道管理者及び沿道住民		(1) 杉並区私道の整備に関する条例 (2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則 (3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			年間を通じて申請を受け付けている。申請を受けた私道の雨水桧を年に1度清掃をしている。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			私道の排水処理を良好にすることにより、雨水桧からの悪臭を取り除き道路環境を保全し、沿道住民の衛生環境や生活環境を確保する。					
	活動指標名(式)			(1) 雨水桧の清掃回数 (2) 申請処理件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			(1) 申請件数に対する受理率 (2) 計画数量に対する処理率					
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%			
	活動指標(1)		個	609	600	449	600	236	600					
	活動指標(2)		件数	61		61		48						
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100					
	成果指標(2)		%	102		75		39						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,208	1,218	1,132	1,218	1,110	1,410	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	1,208	1,218	1,132	1,218	1,110	1,410			申請主義のため目標 値は定めない。		
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	182	181	181	181	181	181				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	1,390	1,399	1,313	1,399	1,291	1,591					
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	2,282	2,332	2,924	2,332	5,470	2,652					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	1,390	1,399	1,313	1,399	1,291	1,591						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			雨水桧等清掃請負					236	個	1,110				
			その他 ( )							0				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 587 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	39.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	91.1
		浚渫物処分の適正化を図ったため、コスト高となったので、柵の清掃箇所を絞り、申請者全員の申請に応えた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		広報へ事業概要を掲載し、区民への周知を図った。 また、処分費の増額に伴い、予算の増額を行った。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	特に、大きな変化はない。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	「個人、町会での雨水柵清掃は、汚泥の処理などの問題があるので区で清掃してほしい。」「若い人がいなくなってきたので自分たちで清掃が出来なくなってきた。」との要望が多い。				
	今後の予測	大きな変化はないと思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:申請箇所の私道については、降雨による道路排水機能を回復させ冠水の防止に役立つ。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:より多くの区民にこの事業を活用してもらうことで、私道における雨水の排水機能を維持することができる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 本来的には私道の管理者たる区民の負担を求めるのが妥当であるが、受益者負担とした場合、申請数が極端に減り、事業の意味がなくなる恐れがある。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 委託にかかる経費の精査は実施済である。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題    区が申請を受け、清掃作業等は、民間事業者が行なう。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民に道路の排水機能の必要性を啓発することで、申請件数の増加を図り、私道における雨水の排水機能を維持していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	予算的には、大きな変化はないと考える。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		舗装新設等工事						整理番号	588		枝番号				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			コード	222701		連絡先 電話番号	4637		昨年度 整理番号	606		昨年度 枝番号	
係名					私道整備担当係長					上位施策名		No			
予算事業名					私道整備助成					コード	57850				
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		39 年度					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 1 施策番号 3 事業コード 9 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 私道管理者及び沿道住民		(1) 杉並区私道の整備に関する条例 (2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則 (3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			年間を通じて申請を受け付けている。申請のあった私道の舗装新設あるいは舗装改修、小補修を順次行っている。									事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 沿道住民及び一般通行者の安全と利便性を高める。		
	活動指標名(式)			(1) 舗装面積 (2) 申請処理件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 申請件数に対する受理率 (2) 計画数量に対する処理率									
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%				
	活動指標(1)		㎡	8,265	9,600	6,700	9,600	6,316	9,600						
	活動指標(2)		件数	89		95		78							
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100						
	成果指標(2)		%	86		70		66							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	123,855	124,096	119,352	117,919	108,670	124,096	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  申請主義のため目標 値は定めない。					
	(内) 投資的経費等		千円												
	(内) 委託費		千円	123,855	124,096	119,352	117,919	108,670	124,096						
	職員数(常勤   非常勤)		人	2.98	2.98	3.00	2.98	2.12	1.97						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	27,118	26,999	27,180	26,999	19,207	17,848					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	150,973	151,095	146,532	144,918	127,877	141,944						
	単位あたりコスト( - )÷		円	18,267	15,739	21,870	15,096	20,247	14,786						
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	150,973	151,095	146,532	144,918	127,877	141,944							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			舗装改修工事					4,661	㎡	80,575					
			舗装新設工事					828	㎡	16,434					
			舗装小補修工事					827	㎡	11,661					
			その他 ( )							0					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 588 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	65.8	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	92.2
		事前調査を行い、条例及び条例施行規則に適合し且つ舗装状態が悪いものは申請を受け付けて整備をしている。18年度は、区が受理している申請件数の減少に伴い、施工量が減少した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		現場立会い時、引渡時に、住民に対し私道管理者意識の啓発を行っている。また、私道整備のあり方について検討した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	申請件数は、近年徐々に減少傾向にある。特に、舗装新設が減少し、改修、補修の割合が増えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	利用者負担が無いことなどから、「私道自体を区で管理してもらいたい。」という要望も多く、管理意識の低下が見られる。					
	今後の予測	区内の私道は、ほぼ舗装整備は完了したといえる。今後は、老朽化した舗装の改修、補修が増大していくと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:住民の要望に十分に応えている。道路状態も良くなり、通行の安全性が確保され生活環境の改善に役立った。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 管理者意識の啓発により、施設の耐用年数の延長を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:所有者が特定されているので見直し余地はあると考える。ただし、第3次行財政改革実施プランの策定の際、現状維持の方針が出されている。将来、負担率の導入により、区の負担率を減らすことを研究。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: 区の工事を、申請者の工事実施に移行する助成制度に改め、将来、地元負担を導入することで、整備費の削減が可能か、研究の余地はある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題    区が助成申請を受け、工事等は、民間事業者が行なう。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の受託方式を助成金方式に変更し、総合的に事務量の削減を図る事務改善を行うことにより、職員削減に対応していく。整備率95%に対応したより具体的な私道整備のあり方を検討し、基準を定め、実施していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 制度の変更に向かい、条例・規則改正、要綱づくり、客観的な基準や、実施に必要な資料づくり、PRなどの事業の増加が見込まれるので、必要事項をリストアップし、進行管理を行なうことで着実に進めていく。また、事務分担の見直しによる効率的な組織体制づくりが必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 予算的には、大きな変化はないと考える。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		排水設備工事助成						整理番号	589	枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222701	連絡先 電話番号	4637	昨年度 整理番号	607	昨年度 枝番号		
係名		私道整備担当係長						上位施策名	No			
予算事業名		私道整備助成		コード	57850	道路交通体系の整備			5			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		39 年度							
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 1 施策番号 3 事業コード 9 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 私道排水設備利用者		(1) 杉並区私道の整備に関する条例 (2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		私道の排水設備の整備費用の工事費に対して助成金を交付している。助成率は、告示後3年以内 100%、告示後3年を超える 90%、改修 90%									
	活動指標名(式)		(1) 施工延長 (2) 助成件数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 沿道住民の衛生環境を向上させる。							
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 申請件数に対する受理率 (2) 計画数量に対する処理率								
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		m	263	350	131	350	237	350			
	活動指標(2)		件数	6		5		3				
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)		%	39		37		68				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,832	25,659	14,341	28,420	28,419	25,659	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数 (常勤   非常勤)		人	0.50	0.50	0.59	0.50	0.63	0.63		申請主義のため目標 値は定めない。	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,550	4,530	5,345	4,530	5,708	5,708			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	28,382	30,189	19,686	32,950	34,127	31,367			
	単位あたりコスト( - )÷		円	107,916	86,254	150,275	94,143	143,996	89,620			
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	28,382	30,189	19,686	32,950	34,127	31,367				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		排水設備工事						237	m	28,419		
		その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 589 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	67.7	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		事前調査を行い、条例及び条例施行規則に適合し、且つ、状態が悪いものは申請を受け付けて整備をしている。18年度は、大規模な申請があったため、予算が不足し予算を流用して対応した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	以前は、数十件の申請があったが、ここ数年は改修が大部分で、10件に満たない申請件数である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	下水管設置あるいは改修工事には多額の費用がかかるため、住民の期待は大きい。下水管の老朽化により汚水桝から本管につなぐ管が壊れることが多くなり、現在助成していない修理費用を区が負担してほしいとの要望がある。					
	今後の予測	私道の排水設備の新規整備は完了したといえる。今後は、老朽化した排水設備の改修が増大していくと思われる。また、現在の条例では出来ないが、部分的な補修の要望が増えてくると予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 衛生環境が改善され、生活環境の向上に役立った。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 生活廃水の排除施設であるため、現在の設備以上のものはできない。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 所有者が特定されているので見直し余地はあると考える。ただし、第3次行財政改革実施プランの策定の際、現状維持の方針が出されている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 申請者に工事費の9割を支払う制度のため、困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 排水設備利用者が排水設備工事を施行し、その工事費について9割を区が助成している。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業概要を、区民に周知することで、排水設備の推進を図り、沿道住民の衛生環境を向上させる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	予算的には、大きな変化はないと考える。



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路維持補修						整理番号	591		枝番号				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			コード	222701		連絡先 電話番号	4633		昨年度 整理番号	609		昨年度 枝番号	
係名		工務係			上位施策名						No				
予算事業名		道路維持補修			コード	57900		道路交通体系の整備						5	
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		28年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 地方自治法 第281条 (2) 道路法 第16条1項 (3) 道路法 第42条1項 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区道（区有通路等を含む）の日常の点検調査や住民からの要望等により、道路の維持補修等を行い適正な管理を図る。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 利用者にとって安全で快適な道路環境を維持する。								
	活動指標名(式)		(1) 補修面積 (2) 透水性洗浄面積				成果指標名(式) ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 要望処理率 処理件数/要望件数 (2) 雨水の地下への浸透量 0.03m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> (1時間あたり)								
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
	活動指標(1)	① m <sup>2</sup>	26,626	35,000	30,635	35,000	27,102	35,000							
	活動指標(2)	② m <sup>2</sup>	16,413	10,000	9,554	10,000	10,433	10,000							
	成果指標(1)	③ %	100	100	100	100	100	100							
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	442,999	463,999	458,954	557,656	541,988	572,208	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	⑥ 千円			7,539			1,945							
	(内) 委託費	⑦ 千円	409,100	427,956	417,304	539,791	524,319	502,207							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	11.66   2.00	10.49   2.00	11.09   2.00	4.90   2.00	6.29   2.00	6.35   2.00							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	⑨ 千円	106,106	95,039	100,475	44,394	56,987	57,531	平成18年度より、区作業員による道路の日常保全業務を委託化した。この際、他事業における委託の一部を移管し統合することで、効果的に運用できるよう工夫し、併せてかかる区人員の配置を変更した。また19年度は、管渠内点検に際して使用する撮影装置の劣化に伴う買い換え費用を計上した。					
		非常勤職員分	⑩ 千円	5,760	5,780	5,780	5,660	5,660	5,660						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	554,865	564,818	565,209	607,710	604,635	635,399							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	20,839	16,138	18,204	17,363	22,310	18,099							
	財源	受益者負担分	⑬ 千円												
		国・都等からの支出金	⑭ 千円												
特定財源計⑬+⑭		⑮ 千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源⑪-⑮		⑯ 千円	554,865	564,818	565,209	607,710	604,635	635,399							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑰ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
18年度の主な取組み	内 容							規模	単位			事業費(千円)			
	区画道路補修工事(委託等)							12,537	m <sup>2</sup>	99,110					
	主要区画道路補修工事(委託等)							8,044	m <sup>2</sup>	91,629					
	L型側溝補修工事(委託等)							4,523	m	79,809					
	主要生活道路補修工事(委託等)							4,415	m <sup>2</sup>	76,008					
	その他 (雨水樹破損箇所補修委託(委託等)等)									195,432					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 591 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	77.4	活動指標(2)の 18年度達成率%	104.3	18年度予算 執行率%	97.2
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		本年も効率的、効果的な執行に努めてきた。あわせて平成18年度から道路の日常保全にかかる業務について精査を行い、リサイクル及び廃棄物の処理等について見直しを行った。今後は、各種道路情報の電子データ化を図り、情報の共有と計画的な維持管理による窓口サービスの向上を図る。また、3ヵ年で道路整備・道路維持補修の計画策定を目指してゆく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	道路は、区民の生活を支えている最も基本的な公共施設であり、その道路に対する区民の要望は現在多様化し、環境面や安全性、快適な利便性等総合対策を含め、年々質の高い道路整備の要求が増している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	振動、騒音など、快適な利用にかかるものや、交通の安全性にかかるものなど、様々な要望が年何千件も寄せられている。					
	今後の予測	地方分権の促進にともなった国有財産の譲与や、区道認定及び区域変更など区道(区有通路を含む)の管理延長及び面積などは、今後増加してくる事予想される。長期的な視野にたった財源の配分について、検討をはじめの時期がきている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 地方分権の促進にともなった国有財産の譲与や、区道認定及び区域変更など区道(区有通路を含む)の管理延長及び面積などは、今後増加してくる事予想される。長期的な視野にたった財源の配分について、検討をはじめの時期がきている。					
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:					
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 道路調査の非破壊検査や機械化及び調査結果等の電子管理を導入し、適正な劣化診断、工事履歴の比較等に基づく維持管理を行うことで、成果の向上は期待できる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区民全てが利益を得るもので、一部の利用者へのみ応分負担を求める受益者負担にはなじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 市場調査等にもとづく基準単価を積算し、常に適切な価格での設計が可能となるよう努めているため。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 補修工事等作業は専門技術と資格を要する事業者へ委託している。区の業務は、道路管理者として区民の安全・安心と良好な生活環境を維持するために必要な措置等の選択、指定を限られた予算枠の中で責任を持って行うことに特化しており、適切な役割分担が実現できている。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたち) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後とも道路への多種多様な要望は増加するものと思われる。今後は各種道路情報の電子化を図り、道路情報の共有と計画的な維持管理による窓口サービスの向上を図ってゆくとともに、効率的な道路の維持を目指し、3ヵ年で道路整備・道路維持補修の計画策定をすることが可能となるよう尽力する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	全庁における簡易型GISの開発との関連を精査し、維持補修にかかる調査情報等の効率的な管理を早期に導入する。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路等清掃			整理番号	592	枝番号				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222701	連絡先 電話番号	4633	昨年度 整理番号	610	昨年度 枝番号	
係名				工務係		上位施策名			No		
予算事業名				道路等清掃		道路交通体系の整備			5		
事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		28 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 地方自治法 第281条 (2) 道路法 第42条1項 (3)					
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (1)区道を利用する歩行者や通過車両及び沿道住民。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) (1)利用者には不快感を与えない清潔な道路環境を維持する。					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(1)道路排水(台風時等)の機能を良好な状態に持つため雨水 樹の清掃を行う。 (2)清潔な道路環境を維持するため清掃対象路線(区道)の清 掃を行う。		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 清掃総延長(km) / 清掃対象路線延長(50km) (2) 清掃割合 清掃総個数(個) / (樹総数 / 3)					
活動指標名(式)				(1) 道路等清掃延長 (2) 雨水樹清掃箇所数							
事務事業の概要											
指標											
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
				計画	実績	計画	実績				
活動指標(1)		km	2,012	1,800	2,040	1,571	2,160	1,594			
活動指標(2)		個	24,192	60,856	27,738	61,077	25,297	61,373			
成果指標(1)		回	36	36	41	32	43	32			
成果指標(2)		回	1.2		1.37		1.24	1.10			
事業費		千円	64,928	66,862	73,438	64,286	62,347	83,957	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  雨水樹清掃より排出さ れる浚渫物の現場分 別が困難となりつつあ るため、適正処理のた め汚泥として一括して 対処し、かかる費用を 計上した。		
(内) 投資的経費等		千円			7,450						
(内) 委託費		千円	64,128	66,447	65,283	62,346	61,790	82,028			
職員数(常勤   非常勤)		人	2.34	2.34	2.34	2.23	2.23	2.23			
人件費		千円	21,294	21,200	21,200	20,204	20,204	20,204			
常勤職員分(超勤分含む)		千円	21,294	21,200	21,200	20,204	20,204	20,204			
非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 + +		千円	86,222	88,062	94,638	84,490	82,551	104,161			
単位あたりコスト( - )÷		円	42,854	48,923	42,739	53,781	38,218	65,346			
財源		千円									
受益者負担分		千円									
国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	86,222	88,062	94,638	84,490	82,551	104,161			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み											
内 容							規模	単位	事業費(千円)		
雨水樹等清掃(委託等)							25,297	箇所	36,491		
路面清掃(委託等)							2,160	km	24,667		
廃棄物等運搬処理(委託等)							14	回	633		
その他 (光熱水費等 )									556		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 592 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	137.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	41.4	18年度予算 執行率%	97.0

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	効果的な事業運営に努めている。また、現在は対象路線を50kmと定めているが、今後更に路線の精査を行っていくこととする。また、雨水樹清掃より排出される浚渫物の現場分別が困難となりつつあるため、適正処理のため汚泥として一括して対処し、かかる費用を計上した。
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	国有財産の譲与や認定道路、区域変更等による区道の管理延長増加に伴い、年々雨水マスの管理個数が増加している。また、かつては失業対策の一環として始められた道路清掃事業であるが、現在ではその目的は後退し、景観及び環境美化の観点を中心とした事業運営が求められている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近年、雨水マスを中心とした蚊の発生、異物投入による異臭発生などへの対応を求める要望が多く寄せられている。環境及び人体への影響の配慮から薬剤散布は行えない状態にあるが、安直にこれらを求める声も多い。
	今後の予測	今後も雨水樹の管理個数は増加の一途を迎えると考え、また、清潔志向の一層の進行から、過剰に雨水樹の清掃を望む声が増加する恐れがある。加えて、社会的変化から、向こう三軒両隣で前面道路の清掃等を通じ、一種の連帯感が育っていた地域社会の維持が難しくなるとともに、高齢化が進行することで、道路清掃要望は今後益々多岐に渡って拡大することが予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 清潔な道路環境を求める区民の声は増加している。環境美化や衛生面、昨今は防犯面への効果も期待されている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )	理由または具体的内容: 事業費のほとんどが清掃委託費であり、その単価・手順等の精査は実施済みである。
	成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 事業内容のほぼ全てを外部委託化済みのため、成果向上は事業費の増減と比例。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 道路は不特定多数の人が利用するため、受益者負担の考えはなじまない。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 清掃委託費などの単価・手順等の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 企業・事業者への委託と平行して、一部補完的に軽易な清掃の部分で、ボランティア組織との協働を進めている。	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 管理雨水マスの増加が見込まれるため、清掃にかかる頻度などを汚れ具合などから振りわけ、調整・精査を行ったうえで適正な状態が維持できるように努めていく。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 6万個に及ぶ雨水マスの適正な情報の収集と管理は困難である。地域分けによる概要把握に留めるなど、適切な簡略化が求められる。 なお、道路清掃ごみの一部は産業廃棄物となるが、これは処理費用が高騰の一途をたどっており、今後は大きな負担となることが予想される。		

20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 清掃ごみのうち、産業廃棄物となるものについては処分費用等が高騰してきており、19年度よりかかる費用を増額した。1～3年はこの額で処理が可能と考えるが、市場価格は高騰の傾向にあるため、今後も動向を注視していく必要がある。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水のみち維持補修						整理番号	593		枝番号			
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			コード	222705		連絡先 電話番号	3315-4178		昨年度 整理番号	611		昨年度 枝番号
係名 設計係					上位施策名					No				
予算事業名 水のみち維持補修					コード		58050		道路交通体系の整備			5		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等 (1) 地方自治法 第281条 (2) 道路法 第42条1項 (3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			破損箇所の補修工事や、境界が是正された箇所の側溝の移設工事等を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者の安全な通行の確保と、地先との境界線の明確化を進めながら適正な管理状態にする。								
	活動指標名(式)			(1) 維持管理面積 (2) 補修面積		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 補修及び整備対応率 整備対応率 補修面積 / 計画補修面積								
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%				
指標	活動指標(1)		㎡	94,667	94,667	94,667	94,667	94,667						
	活動指標(2)		㎡	1,598	1,600	1,527	1,600	1,039	1,800					
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100					
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100	100					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	35,410	32,397	37,918	38,287	38,056	34,207	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	35,406	32,390	37,918	38,280	38,056	34,207					
	職員数 (常勤   非常勤)		人	0.78	0.78	0.78	0.76	0.60	0.60					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,098	7,067	7,067	6,886	5,436	5,436				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	42,508	39,464	44,985	45,173	43,492	39,643					
	単位あたりコスト( - )÷		円	449	417	475	477	459	419					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	42,508	39,464	44,985	45,173	43,492	39,643						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)					
			舗装補修工事(委託等)				1,039	㎡	26,385					
			L型側溝補修工事(委託等)				309	m	8,072					
			施設整備(委託等)				1	式	3,599					
			その他 ( )						0					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 593 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	64.9	18年度予算 執行率%	99.4
		補修及び整備はほぼ計画どおり実施できた。しかしながら、水のみち(公共溝渠)の現況は、劣化頻度(クラック、穴、振動)が高く、今後は補修枠の拡大が必要と思われる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		今後も、公共溝渠管理にかかる効果的な執行が望まれる。水路のあり方検討会最終答申を受け、各タイプ別に、計画的な施行の管理を目指している。 また、近年の補修には境界是正等に際して必要となる補修が増加傾向にあり、劣化に伴った補修が十分に行えない不都合がでてきている。区財産保全にともなって必要となる補修については、考え方や手法について改めて精査する必要がある。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	水のみちは、下水道の普及とともに昭和30～40年代に一齐に埋め立てられた水路敷きであり、区民の生活を支える貴重な歩行空間であるが、近年老朽化が目立っている。また、財産が区に譲与され、境界にかかる事項の精査が急務となっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	老朽化による舗装、側溝の破損等、安全面に関する要望、苦情が多数寄せられる。					
	今後の予測	区民の生活を支える貴重な通行空間として、安全面に関する要望は今後も増えることが予想される。また、境界の是正などに際して、公共用地の保全を積極的に図る必要も増すと考える。また、今後は区財産の保全についても従前より徹底することが見込まれるため、劣化に伴う補修とのバランスを精査する必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 過密な住環境にある当区において、住民の安全で快適な通行空間の確保に必要不可欠となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 現在の事業規模は最低レベルの維持管理であり、その必要経費の精査は実施済みである。 理由または具体的内容: 維持補修エリアを拡大するためには、工事費の確保は避けられない。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 当該施設は、区民全てが利益を得るもので、一部の利用者へのみ応分負担を求める受益者負担にはなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 修理などにかかる単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 現行の役割分担が望ましいと考える。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地方分権一括法の施行により財産が区に譲与され、境界の是正と財産保全を図ることが急務になっている。また、過密な住宅地における歩行者などの安全な生活用通路としての機能を保つ必要があり、積極的に維持補修を行ってゆく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 水のみち(公共溝渠)の現況は、劣化頻度(クラック、穴、)が高く、現状の中では、補修を要する箇所が多数存在する。区財産保全にかかる補修の取扱量が増えてきており、これに適切に対処するための財政措置及び事業項目への割りあてを早急に行う必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 水路のあり方検討会最終答申を受け、今後は各タイプ別に計画的な施行管理について定め、効率的な維持補修を策定する。維持補修枠の拡大については、この時点で精査してゆく。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路樹等維持管理						整理番号	594	枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222701	連絡先電話番号	4633	昨年度整理番号	612	昨年度枝番号		
係名		工務係		上位施策名					No			
予算事業名		街路樹等維持管理		コード	58100	道路交通体系の整備					5	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 街路樹がある区道(井草川遊歩道、駅前広場を含む)の利用者。				根拠法令等 (1) 地方自治法 第281条 (2) 道路法 第42条及び第85条 (3) 杉並区公共溝渠管理条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		街路樹及び道路緑地樹木の適正な維持管理及び、駅前広場の噴水設備の点検、清掃等を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 良好な道路景観や歩行空間を創出し、交通騒音等による沿道環境の悪化を改善する。また、駅前広場においては水とみどりに親しむ憩いの場を提供する。					
	活動指標名(式)		(1) 街路樹の維持管理本数 (2) 駅前広場の清掃回数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 要望対応処理率 処理件数 / 区民要望件数 (2) 清掃実施率					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)		本	6,938	6,938	6,938	6,938	6,938	6,938			
	活動指標(2)		回	100	100	100	100	100	100			
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100	100			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	54,480	55,436	54,173	55,646	54,758	53,834	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	50,930	50,741	49,801	50,825	48,310	48,937			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.26	0.26	0.66	0.36	0.46	0.57			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,366	2,356	5,980	3,262	4,168	5,164		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	56,846	57,792	60,153	58,908	58,926	58,998			
	単位あたりコスト( - )÷		円	8,193	8,330	8,670	8,491	8,493	8,504			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	56,846	57,792	60,153	58,908	58,926	58,998				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			樹木管理委託(委託等)							43,333		
			自転車歩行者専用道等清掃、除草委託(委託等)							2,540		
			噴水清掃、管理委託(委託等)							4,361		
			区民参加事業運営費							368		
			その他 ( 噴水光熱水費等 )							4,156		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 594 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	98.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		街路樹を始め、公共施設から発生する剪定枝葉は、みどりのリサイクル計画に基づき資源化施設に持ち込み、処理を行なうよう進めている。また、区内各駅に点在する駅前広場については、18年度より道路維持補修事業における日常保全委託でも清掃を行うことで、実施数を大幅に増やし美化に努めている。なかでも阿佐ヶ谷駅前広場は区の顔であり、花壇については都立農芸高校に授業の一環として植付け管理を協働して行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	街路樹等については、全体的に高木で、なおかつ、植栽後かなり経年しており、殆どの樹木が古木であり、強風に対し弱く、すでに倒木等の事故を引き起こしている。また、近年はみどりの条例など、みどりに対する関心は高い。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	街路樹全般に対する剪定の要望、高木に対する倒木の心配など数多く寄せられている。また、近隣住民による雨樋等の落ち葉清掃の要望が寄せられている。					
	今後の予測	みどりの条例に伴い公共施設の緑化など、益々増加すると思われる。樹木の高木化にとともに、落ち葉清掃等の要望増加が予想される。管理本数に対し、適切な管理費の充たがなければ、防犯面・環境面で課題が生じる。このことから、状況に見あった管理費の配当が必要と思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: みどりに対する期待は高く、また街路樹における緑被率への貢献も期待されている。今後も公共施設の緑化推進は欠かせないものであり、施策の貢献度は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 樹木は生き物であり、日々成長している。樹木本数の増加や高木化により、本事業費での成果の向上は難しいものと思われる。 理由または具体的内容: 委託費の拡充を図るとともに、花壇や植込地内の清掃等、保守業務の見直しと精査を継続する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区管理道路内での街路樹は、区民全てが利益を得るもので、一部の利用者にものみ応分負担を求める受益者負担にはならない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 市場調査等にもとづく基準単価を積算し、常に適切な価格での設計が可能となるよう努めているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 企業・事業者への委託と平行して、一部補完的に植込地内の管理について、ボランティア組織との協働を進めていく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 街路樹等は、全体的に高木で尚且つ、植栽後かなり経年しておりほとんどの樹木が古木に近く、強風に対して弱く、危険なものを選別するための樹木診断の検討が必要である。    高木化に対応した剪定等を計画的に実施する。    里親制度の推進を図っていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 要望件数が多いため、現在の予算では、要望箇所の高木剪定を主に行っている。このため、中長期的視点に基づいた実施が困難な状況となっている。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 当面は現行予算規模内での運用を実施する。		



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		河川維持管理						整理番号	611	枝番号				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222705	連絡先 電話番号	3315-4178	昨年度 整理番号	629	昨年度 枝番号				
係名 設計係				上位施策名				No						
予算事業名 河川維持管理				コード 59300		道路交通体系の整備				5				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			40 年度			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 河川(神田川、善福寺川、妙正寺川)沿いの住民及び河川管理用通路の利用者			(1) 東京都区長委任条項 第11条		(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			管理用通路の清掃、除草、舗装補修及び河床の清掃、水草除去、法面の除草等を行う。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		河川環境の保全や河川の環境を良好に保つことで、安全で快適な環境を提供する。					
	活動指標名(式)			(1) 河川管理用通路面積 (2) 河床維持管理面積			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 維持補修率 (2) 維持管理対応率					
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%				
指標	活動指標(1)		㎡	118,119	118,119	118,119	118,119	118,119						
	活動指標(2)		㎡	142,999	142,999	142,999	142,999	142,999						
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100						
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	115,615	128,250	178,870	150,261	147,296	132,792	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  平成17年度の水害に伴う護岸等の補修を実施した。 平成18年度より、区作業員による道路の日常保全業務を外部委託化し、区職員作業量については削減した。				
	(内) 投資的経費等		千円			55,258								
	(内) 委託費		千円	113,944	128,250	123,612	147,842	145,887	130,948					
	職員数(常勤   非常勤)		人	2.89	2.87	3.65	2.22	2.10	2.27					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	26,299	26,002	33,069	20,113	19,026	20,566					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	141,914	154,252	211,939	170,374	166,322	153,358					
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,201	1,306	1,326	1,442	1,408	1,298					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	141,914	154,252	211,939	170,374	166,322	153,358						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)					
			大規模補修工事(委託等)				3	式	48,479					
			河川管理委託(委託等)				3	式	50,373					
			河床及び管理通路補修工事(委託等)				3	式	7,937					
			河川樹木維持管理委託(委託等)				1	式	38,063					
			その他 ( )						2,444					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 611 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	98.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		河川管理用通路の路盤沈下、笠置の崩落、護岸のせり出し等危険な場所ができてきているため、計画的な維持管理対策の検討を行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区内の河川は、昭和30年代後半～50年代前半にかけて、護岸や管理用通路が整備された。近年の健康志向に伴い、この通路を散策・ジョギング等が行える快適な歩行空間機能(歩く、楽しい等)がよりとめられている。こうした状況の中、現在、管理用通路の路盤沈下・笠置の崩落・護岸のせり出し等危険な状態にあり、管理面積に対する経費は極力抑えられているため、維持管理上重要な課題となっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	管理用通路においては、地盤沈下、蚊の発生や、落ち葉などによる舗装、除草、剪定等の要望が多数寄せられる。河床では、体積土砂や水草除去による悪臭や水防時の流れの阻害要因解消への要望がある。護岸等においては、笠置の崩落、護岸のせり出し等危険な状態にあり、昨年発生した地震災害報道等を受け崩落の危険性に対する要望が寄せられている。					
	今後の予測	今後も区民の環境・安全に対する意識の高まりを配慮しつつ、良好な維持管理を行っていく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:管理用通路の地盤沈下、笠置の崩落、護岸のせり出し、河川の洗掘等の危険な状態を改善し、近隣及び通行する住民の安全で快適な生活環境を確保する。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容:現在の事業規模は最低レベルの維持管理であり、その必要経費の精査は実施済みである。 理由または具体的内容:事業規模拡充による。なお、河川維持管理費は、都区維持管理役割分担に基づき河川管理費が都より交付金で区に交付されており、維持管理整備のために優先的に充当していく必要					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:河川・河川管理用通路等の維持管理に関連した事業は、区民全てが利益を得る類のもので、一部の利用者にとのみ応分負担を求める受益者負担にはなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:管理通路上の樹木・花壇等の植込地や通路の清掃等については、一部区間でボランティアグループ等による活動が行われている。これらをより拡大していく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題:現行の役割分担が望ましいと考える。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 老朽化(管理用通路の路盤沈下、笠置の崩落、護岸のせり出し、河川の洗掘等)した危険な状態にある河川施設改善を進めるとともに、バリアフリー化に努め、利用者にとって安全かつ快適な環境を維持してゆく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事業の多くの部分を外部の委託・請負で賄っており、これらの費用の確保と、更なる精査が課題となる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 重点的に、危険度の高い場所の補修を優先して行ってゆく。なお、発生材における処分費は今後も高騰することが予想されるため、必要な経費を措置する必要がある。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		排水場維持管理				整理番号	612	枝番号				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222701	連絡先 電話番号	4633	昨年度 整理番号	630	昨年度 枝番号		
係名		工務係		上位施策名				No				
予算事業名		土木事務所維持管理		コード	56900	道路交通体系の整備				5		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 阿佐谷排水場(阿佐谷南3-49 2台)上荻排水場(上荻1-2 1台)		(1) 地方自治法 第281条 (2) (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		JR線高架下の区道及び地下道の雨水・地下水等を排水する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) JR線高架下の区道及び地下道を安全に通行できるようにする。							
	活動指標名(式)		(1) 排水施設の保守点検回数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 点検実施率 (2)							
指標	活動指標(1)		回	6	6	6	6	6	6	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	633	755	2,319	755	638	941	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 設備劣化に伴う修繕費 を上積みした		
	(内) 投資的経費等		千円			1,628						
	(内) 委託費		千円	381	381	381	381	381	681			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.02		0.02		0.02		0.01		0.01
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	182	181	181	181	91	91		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	815	936	2,500	936	729	1,032			
	単位あたりコスト( - )÷		円	135,833	156,000	145,333	156,000	121,500	172,000			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	815	936	2,500	936	729	1,032				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		排水場ポンプ保守点検(委託等)						2	箇所	381		
		その他 (排水場光熱水費等)								257		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 612 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	84.5
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		経年による老朽化が進んでいるため、点検調査回数の増加や、改修計画の検討を行っている。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	本排水場は、昭和40年代前半、国鉄中央線の高架復々線化事業により掘削化した区道の路面排水及び軌道敷の排水対策として設置、また踏切撤去に伴う地下道新設によりR用地内に土地を無償貸借し設置された施設である。共に下水道施設に自然流下することが不可能なため施設の存続する限り、これを維持する。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	排水場は、平成10年にポンプの改修を行ったが、その他の周辺機械機器類及び、施設は設置時のままである。このため、当排水場施設は経年劣化しており、故障の発生も多い。ごく最近も故障し道路冠水により、隣接の事務所兼倉庫に雨水がはいる、改善の要望が寄せられている。				
	今後の予測	施設の老朽化が進んでいるため、いずれ全面的な改修工事が必要になる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由： 排水場の故障は、沿道の方々や通行者に損害をもたらすため、施策への貢献度は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )	理由または具体的内容： 施設の老朽に伴い、修理箇所が今後増えていくことが予想されるため、現在の事業費での成果向上は困難である。				
	成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容： 点検調査回数を増やしていくか、改修工事の実施が必要である。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： 当該施設は、付近に居住、または通行する不特定多数の住民が利益を得るもので、受益者負担の特定は困難である。				
(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容： 全面改修を行うことで、短期的な補修費用の改善は見込むことができる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題： ポンプ等の点検調査には、知識経験のある事業者を活用していくことは、不可欠である。このため、今後も引き続き現状を維持することが必要と考える。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 週一回程度の点検調査を実施する。周辺機器の老朽化が進んでいることから、オーバーホールや改修工事を実施していく必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設の改修工事は、経費がかかることから、改修計画をたて進めていく必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 排水場の施設は、経年劣化した機器類を使用しているため、機器の故障は道路冠水に結びつき、通行の阻害、隣接事務所兼倉庫の浸水など、重大な被害をもたらす。このため、週一回程度の点検調査を行なっていくこと、排水施設の改修計画を策定し、実施することを検討する。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			狭あい道路拡幅整備					整理番号	652	枝番号					
担当部課名			都市整備部土木管理課		コード	220719	連絡先電話番号	3473	昨年度整理番号	671	昨年度枝番				
係名			狭あい道路係					上位施策名		No					
予算事業名			狭あい道路拡幅整備		コード	58350	道路交通体系の整備		5						
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		1 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	1	施策番号	3	事業コード	9
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 狭あい道路に接する敷地の建築主及び関係権利者				根拠法令等		(1) 建築基準法第42条第2項 (2) 東京都建築安全条例第2条 (3) 杉並区狭あい道路拡幅整備条例及び同施行規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			建築確認申請前の協議により、狭あい道路に接した敷地の後退区域を確定する。道路拡幅の整備承諾を得たところについては、その区域内にある門、塀などの撤去に要する費用等に対する助成金や隅切り奨励金による支援を行い、区が道路の拡幅整備工事を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		狭あい道路を4mに拡幅整備し、防災性の向上を図るとともに、円滑な通行を確保することにより、安全で快適なまちにしていく。					
	活動指標名(式)			(1) 道路拡幅整備距離 (2) 道路拡幅整備件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) $整備率 = 整備延長距離 \div (42条2項道路総延長距離 \times 2 (両側))$ (2)					
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
指標	活動指標(1)		m	7,562	6,500	6,515	6,500	6,772	6,500						
	活動指標(2)		件	546	540	488	540	503	540						
	成果指標(1)		%	19	20	20	21	22	25						
	成果指標(2)		%												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	468,444	540,114	460,477	538,259	496,106	537,608	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)投資的経費等		千円												
	(内)委託費		千円	428,536	471,888	421,647	469,597	448,727	459,804						
	職員数(常勤   非常勤)		人	17.42   1.99	17.00   1.99	17.39   1.99	16.00   2.10	16.27   2.06	16.00   2.45	(成果指標の数値) (1) 累計数値 総延長距離 332km 整備延長距離 136.4km					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	158,522	154,020	157,553	144,960	147,406	144,960						
		非常勤職員分	千円	5,731	5,751	5,751	5,943	5,830	6,934						
	総事業費 + +		千円	632,697	699,885	623,781	689,162	649,342	689,502						
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	83,668	107,675	95,745	106,025	95,886	106,077						
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	632,697	699,885	623,781	689,162	649,342	689,502							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			狭あい道路拡幅整備工事(委託等)							386,736					
			測量委託(委託等)							61,991					
			拡幅整備助成							44,587					
			協議書及び訂正起案データ入力(委託等)							1,222					
			その他 ( )							1,570					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 652 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	104.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	93.1	18年度予算 執行率%	92.2
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ここ数年は800件前後で推移していた協議件数が17年度は例年を下回る件数となった。18年度は再び800件台へと回復したため、執行率は回復した。整備工事費及び助成金の執行残については、建築工事施工の遅延から年度末に予定していた整備工事が実施できなかったことが主たる要因である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	狭あい道路拡幅整備事業の事前協議申請件数は概ね横ばい傾向である。近年、企業等の所有地が売却される傾向が見られ、敷地の細分化が進行している。そのため、1件あたりの整備距離は短く、拡幅面積も少なくなってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	自主整備の場合、後退した部分に花壇等を設置する事例が一部にあり、道路管理上の苦情が寄せられている。また、協議申請は個々の敷地で行われるため、道路の反対側の協議申請の際に先の協議に対して問題が提起される事例が見受けられる。					
	今後の予測	狭あい道路拡幅整備事業に対する区民の理解が浸透してきており、今後も建て替え等にあわせた整備が見込まれる。4m未満の狭あい道路が多数存在するため、今後とも引き続き事業上の課題を工夫検討するとともに、区民の協力により事業を充実させていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: まちの環境改善として、狭あい道路の解消は特に防災性や交通の利便性の向上に貢献する。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 本事業の重要性と必要性が十分に認識され、区民の理解と協力がさらに得られれば向上の余地はある。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 申請者の協力を得て敷地を後退することにより、道路の拡幅整備を行うため見直しの余地はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 測量及び整備工事については、極力経費がかからないよう実施しているが、敷地の細分化が進んでいるため、協議申請1件あたりの整備距離が短くなってきており、コストを下げる余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 道路拡幅整備工事及び測量、当該年度におけるデジタルファイリングシステムデータ作成を委託した。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 業務の効率的執行と資料収納スペース縮小化のため、平成14年度からデジタルデータ化を進め、情報の一元化を図った。今後引き続きGISシステム及び事業の進行管理システムと連動させ、関係部署との情報の共有化により事業を一層充実させていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 協議書、道路図面、測量図や写真等のデジタルデータを活用するため、安全で効果的なシステムを構築することが課題である。そのために、職場内の検討チームで検討を行いシステムを構築する。必要な複合機(A2版対応可能)などのハード面の整備についてもあわせて検討する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	20年度を目途にデジタルファイリングシステムとGISシステム及び進行管理システムを連動させ、関係部課との情報の共有化を図る。